

---

泉佐野市  
在宅介護実態調査  
報告書

---

令和8年3月



## 目次

1. 調査概要	2
(1) 調査目的	2
(2) 調査の実施について	2
(3) 有効回答件数及び回答率	2
(4) 留意点	2
2. 回答者の属性	3
(1) 性別、年齢別、要介護度別	3
3. A票:基本事項について	4
4. B票:主な介護者の方にお聞きします	15
5. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果	20
◆検討テーマと集計・分析の狙い	20
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	21
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	29
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	34
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	40
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	43
(6) その他	45





# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

来年度、泉佐野市では、令和9年度から令和11年度までの「泉佐野市第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定します。本調査では、「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族などの介護者の方が仕事を続けること」が出来るような介護サービスの在り方を検討することを目的としました。

## (2) 調査の実施について

対象者	令和7年12月1日現在、泉佐野市内にお住まいの要支援・要介護認定を受けている在宅の65歳以上の方
実施期間	令和7年12月1日（月）～令和7年12月22日（月）
実施方法	郵送配布、郵送回収

## (3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,000件	679件	679件	67.9%

## (4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
4. クロス集計については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計している。認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっている。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別、年齢別、要介護度別

単位：%

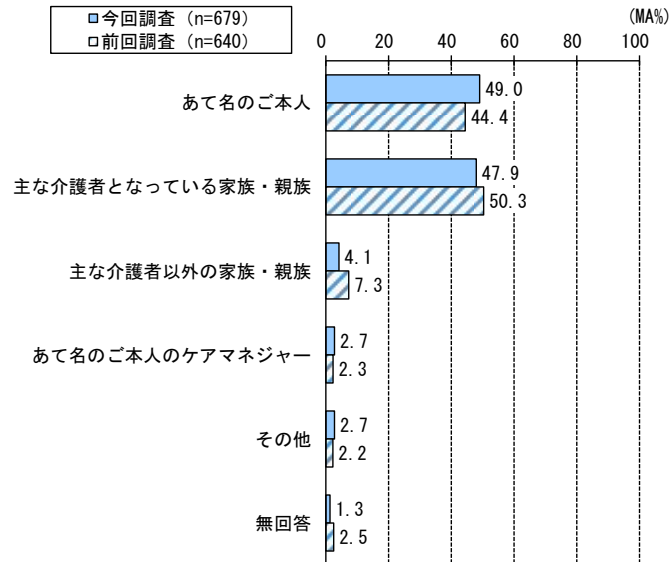
		母数	要介護度						
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体		679	11.5	21.8	16.5	24.9	11.8	8.8	4.7
性別	男性	218	11.5	17.9	16.1	27.5	14.2	7.8	5.0
	女性	461	11.5	23.6	16.7	23.6	10.6	9.3	4.6
年齢	65～69歳	21	-	14.3	14.3	33.3	23.8	14.3	-
	70～74歳	42	11.9	28.6	16.7	28.6	7.1	2.4	4.8
	75～79歳	104	15.4	25.0	13.5	24.0	7.7	7.7	6.7
	80～84歳	180	16.1	25.6	15.6	23.3	9.4	7.2	2.8
	85歳以上	332	8.4	18.4	18.1	25.0	14.2	10.5	5.4

### 3. A票:基本事項について

●A問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも○)

**【全体】**  
○ 回答者について、「あて名のご本人」が49.0%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が47.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.1%となっています。

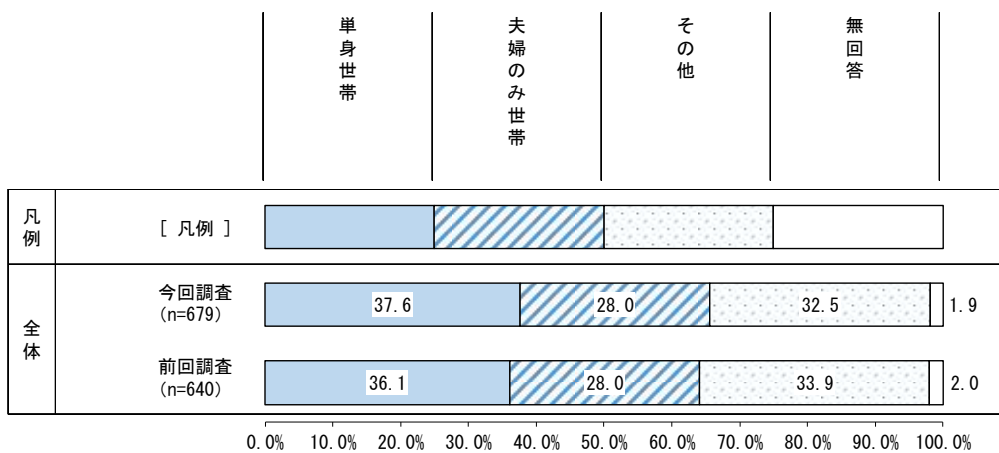
**【回答者(MA)】**



●A問2 あて名のご本人の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ○)

**【全体】**  
○ 世帯類型について、「単身世帯」が37.6%で最も多く、次いで「その他」が32.5%、「夫婦のみ世帯」が28.0%となっています。

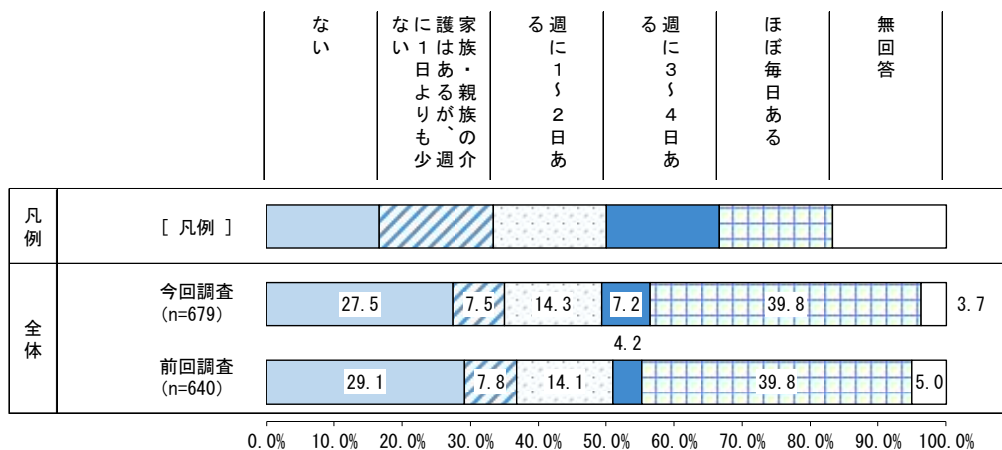
**【世帯類型】**



- A問3 あて名のご本人は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 家族・親族からの介護について、「ほぼ毎日ある」が39.8%で最も多く、次いで「ない」が27.5%、「週に1～2日ある」が14.3%となっています。

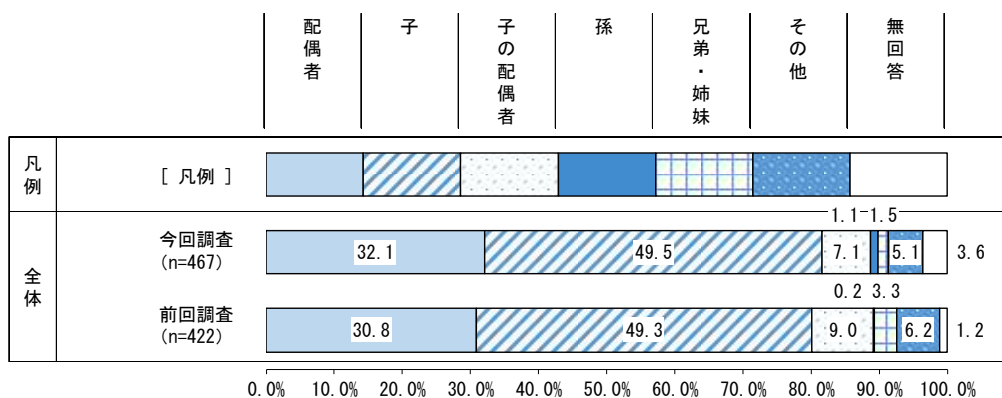
**【家族・親族からの介護】**



- A問4 あて名のご本人を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 主な介護者について、「子」が49.5%で最も多く、次いで「配偶者」が32.1%、「子の配偶者」が7.1%となっています。

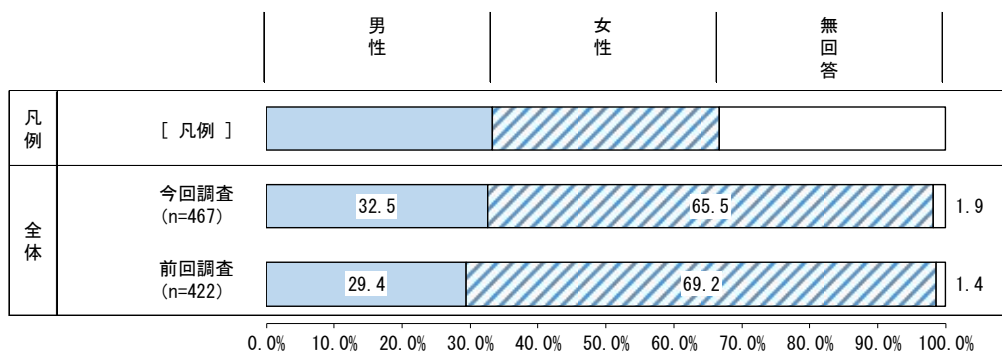
**【主な介護者】**



- A問5 あて名のご本人を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ○)

**【全体】**  
○ 主な介護者の性別について、「男性」が32.5%、「女性」が65.5%となっています。

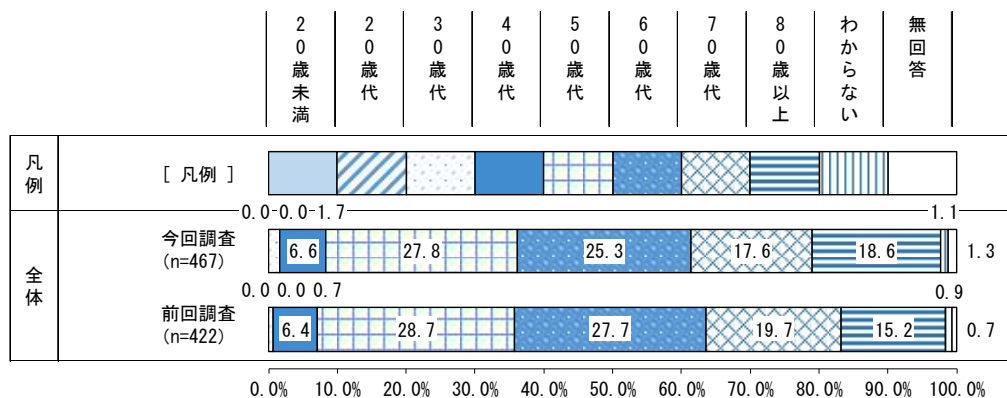
**【主な介護者の性別】**



- A問6 あて名のご本人を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ○)

**【全体】**  
○ 主な介護者の年齢について、「50 歳代」が 27.8%で最も多く、次いで「60 歳代」が 25.3%、「80 歳以上」が 18.6%となっています。

**【主な介護者の年齢】**

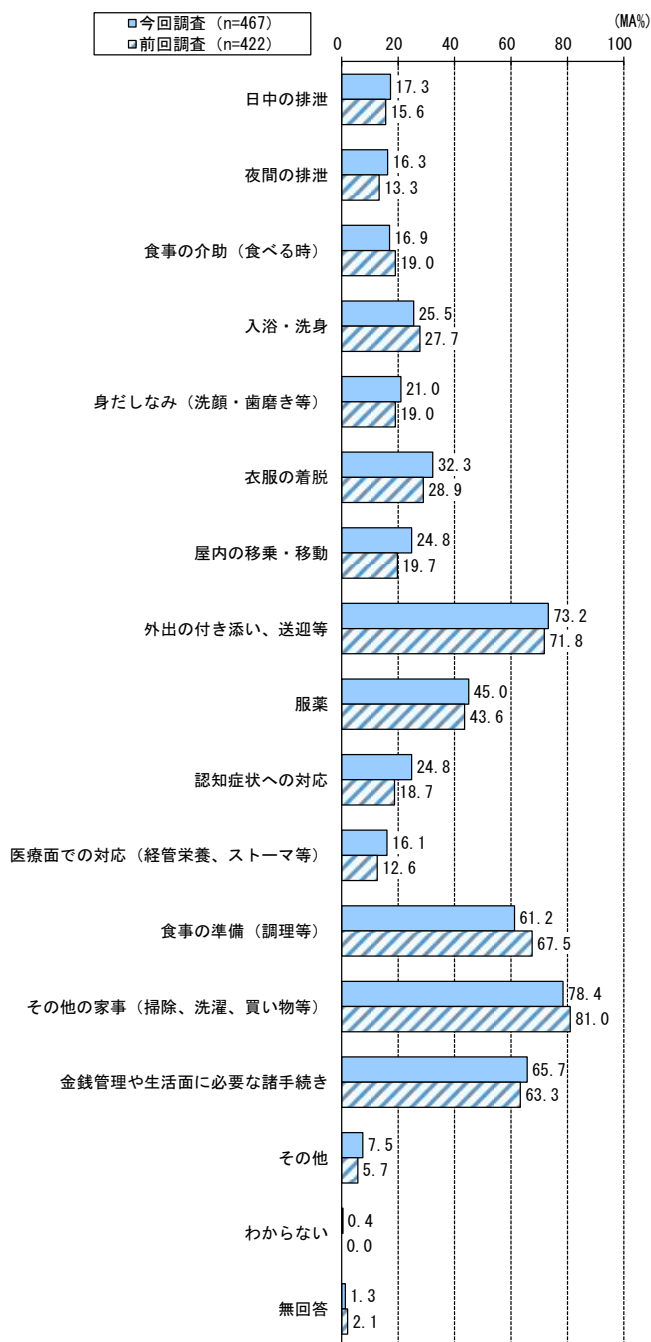


- A問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも○)

【全体】

- 主な介護者が行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が78.4%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が73.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が65.7%となっています。
- 「屋内の移乗・移動」は今回調査が24.8%と前回調査の19.7%に比べて、「認知症状への対応」は今回調査が24.8%と前回調査の18.7%に比べて多くなっています。
- 「食事の準備（調理等）」は今回調査が61.2%と前回調査の67.5%に比べて少なくなっています。

【主な介護者が行っている介護(MA)】

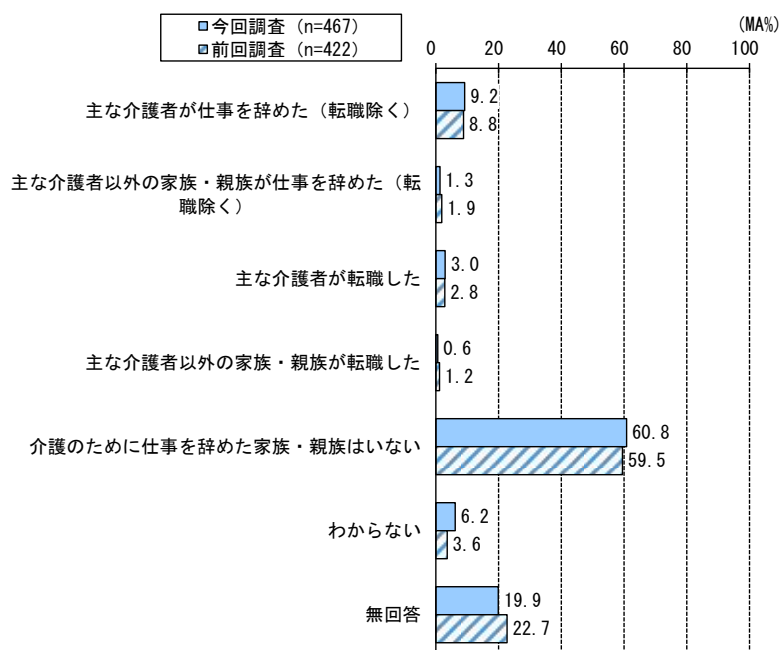


- A問8 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも○)

**【全体】**

- 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.8%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.2%、「わからない」が6.2%となっています。

**【介護離職(MA)】**

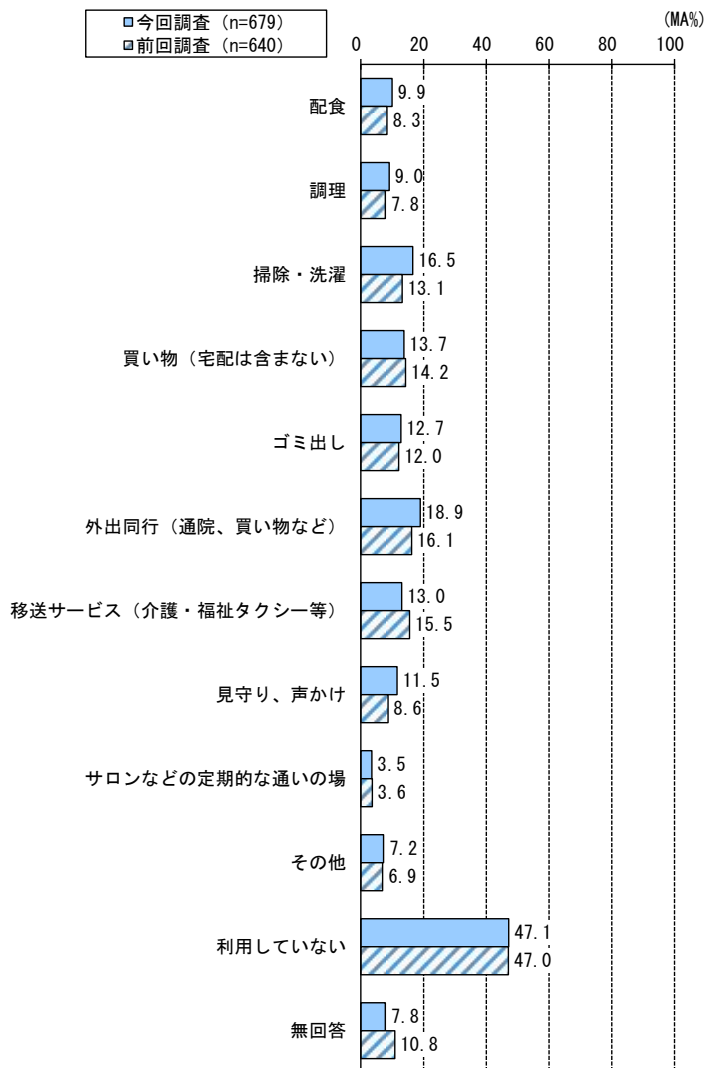


- A問9 現在、あて名のご本人が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)

**【全体】**

- 利用している介護保険以外の支援・サービスについて、「利用していない」が47.1%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が18.9%、「掃除・洗濯」が16.5%となっています。

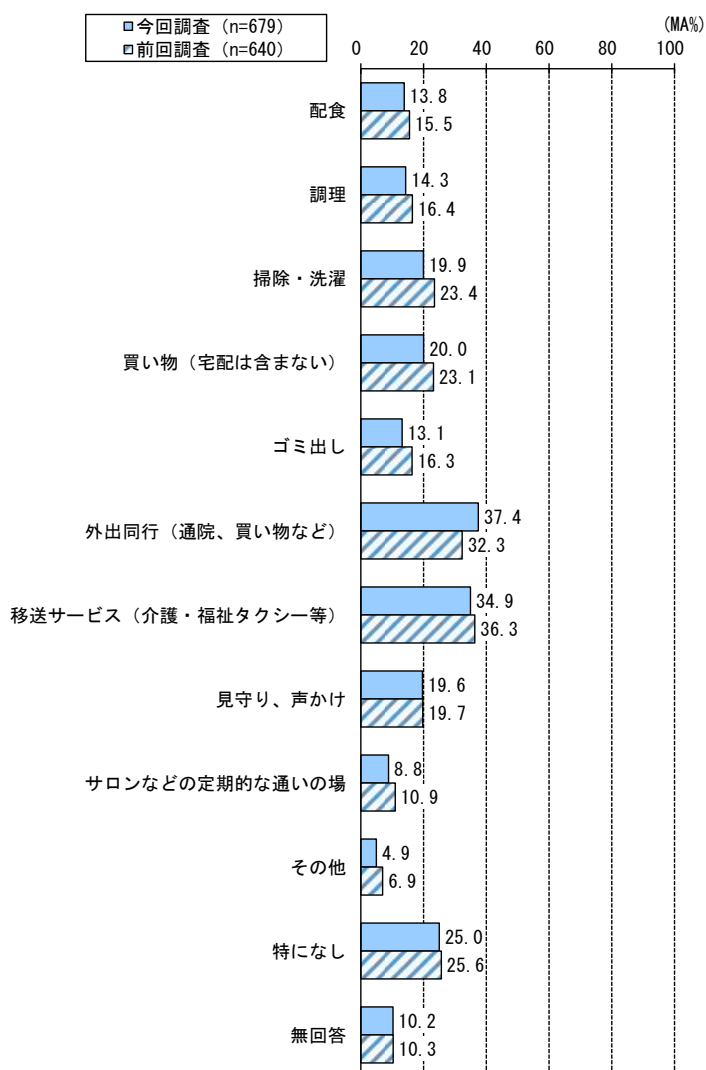
**【利用している介護保険以外の支援・サービス (MA)】**



- A問10 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)

**【全体】**  
 ○ 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院、買い物など）」が37.4%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.9%、「特になし」が25.0%となっています。  
 ○ 「外出同行（通院、買い物など）」は前回調査の32.3%に比べて多くなっています。

**【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】**

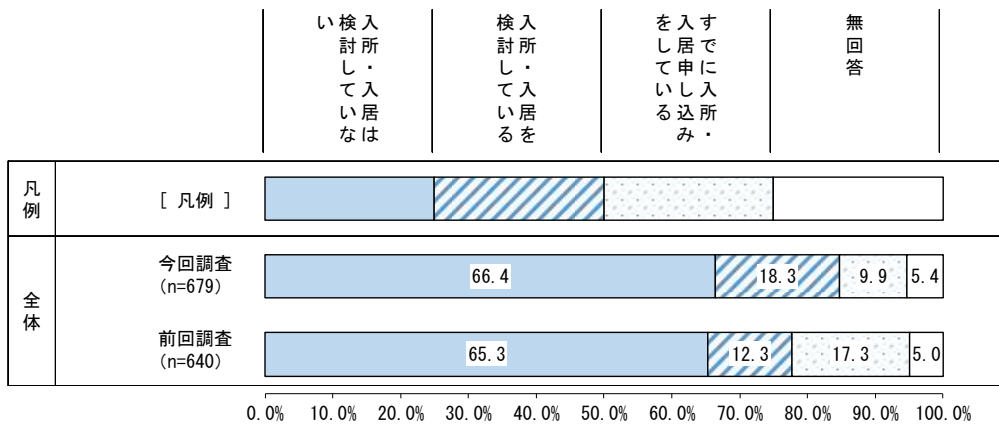


- A問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ○)

**【全体】**

- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が66.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が18.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.9%となっています。
- 「入所・入居を検討している」は前回調査の12.3%に比べて多く、「すでに入所・入居申し込みをしている」は前回調査の17.3%に比べて少なくなっています。

**【施設等への入所・入居の検討状況】**

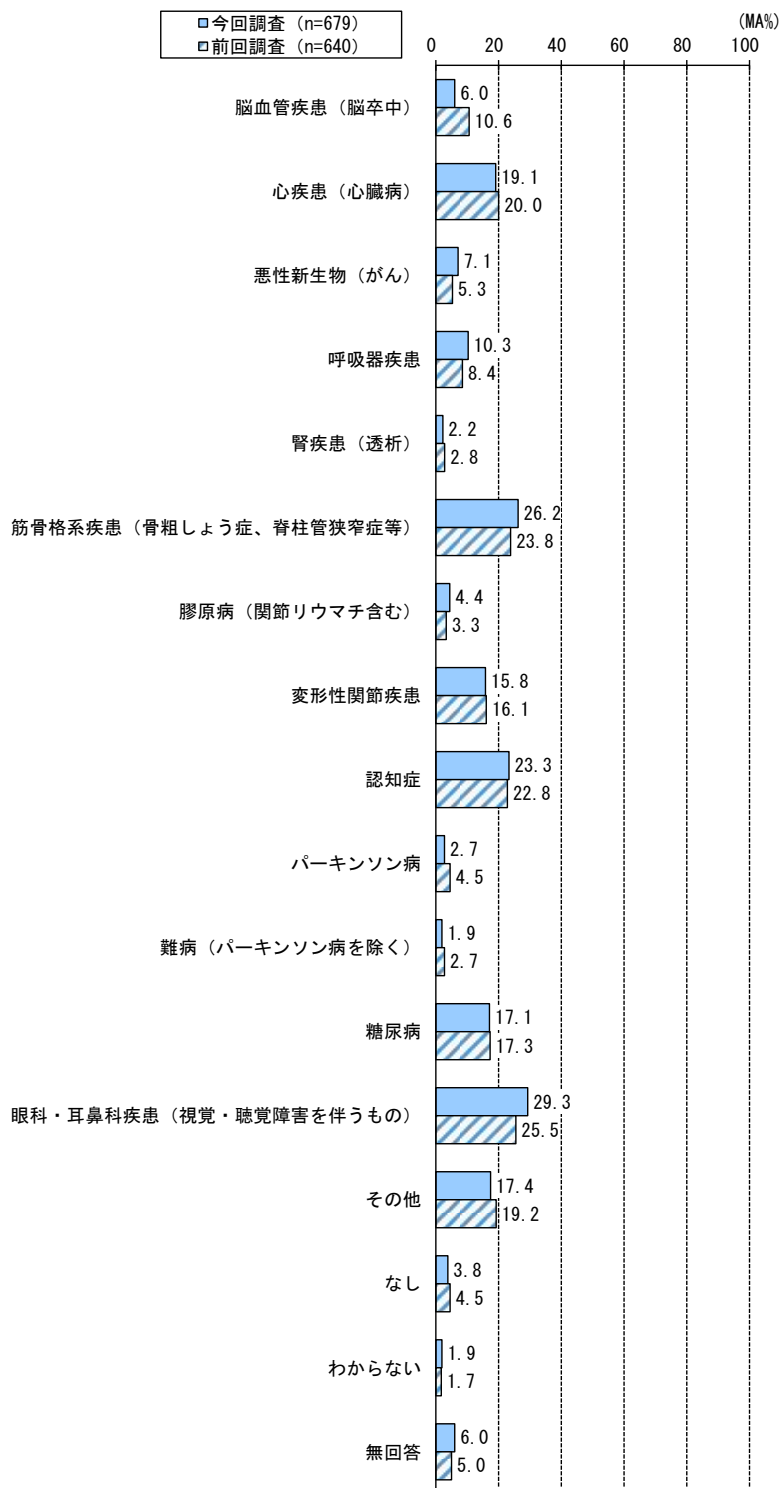


- A問12 あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)

【全体】

- 現在抱えている傷病について、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が29.3%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が26.2%、「認知症」が23.3%となっています。

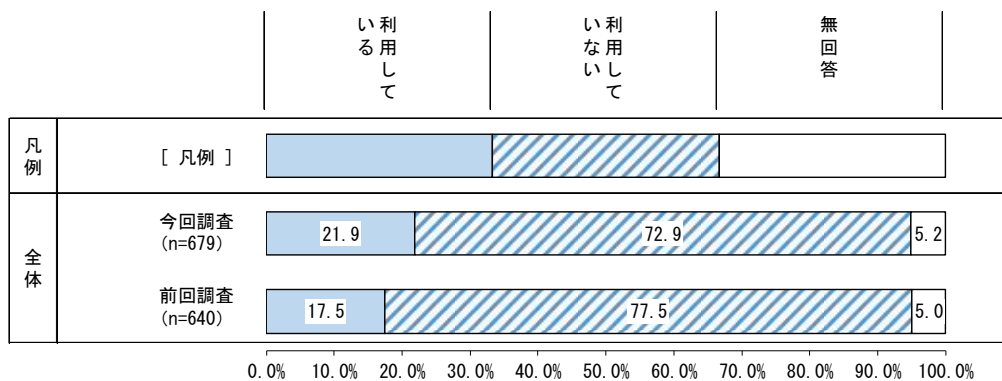
【現在抱えている傷病(MA)】



- A問13 あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」が21.9%、「利用していない」が72.9%となっています。

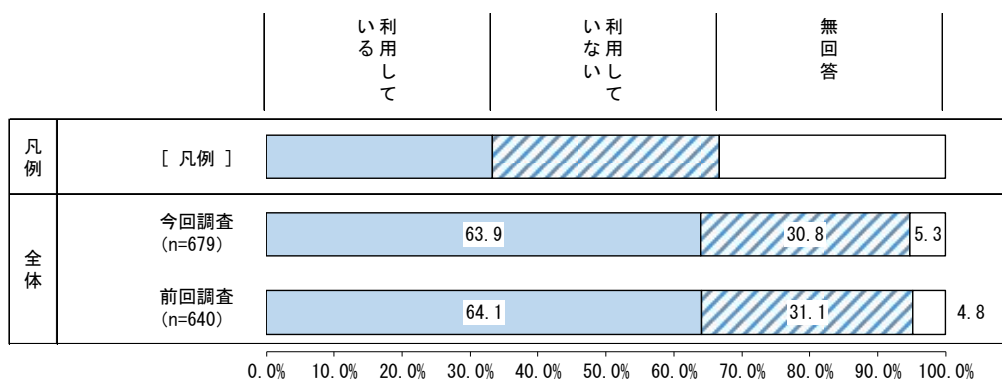
**【訪問診療の利用状況】**



- A問14 あて名のご本人は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が63.9%、「利用していない」が30.8%となっています。

**【介護保険サービスの利用状況】**

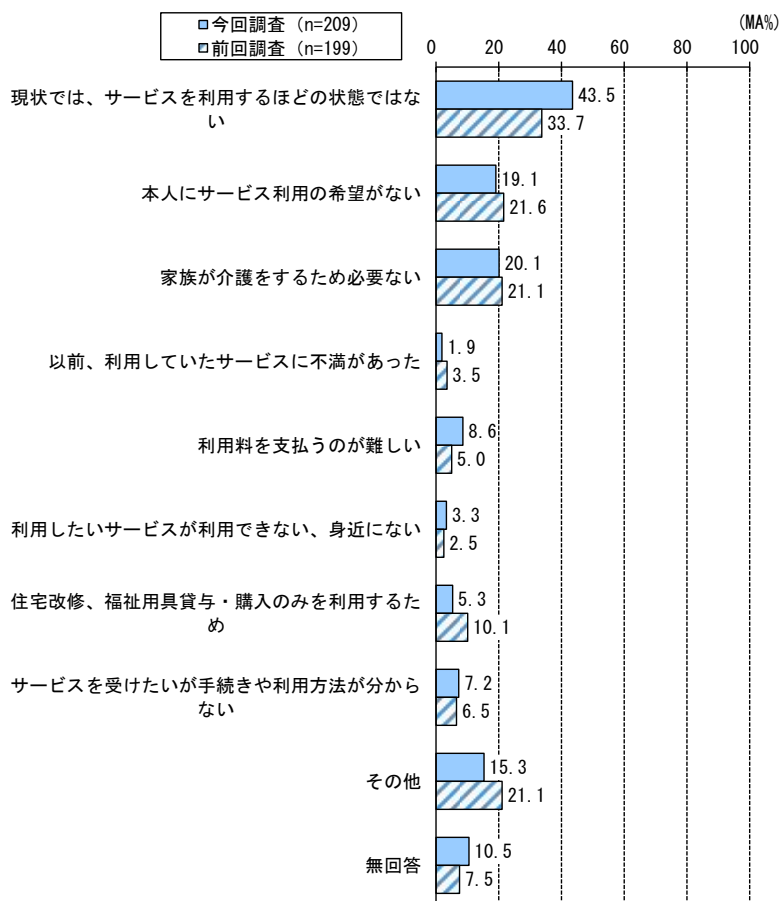


●A問15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 43.5%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 20.1%、「本人にサービス利用の希望がない」が 19.1%となっています。
- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は前回調査の 33.7%に比べて多くなっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】

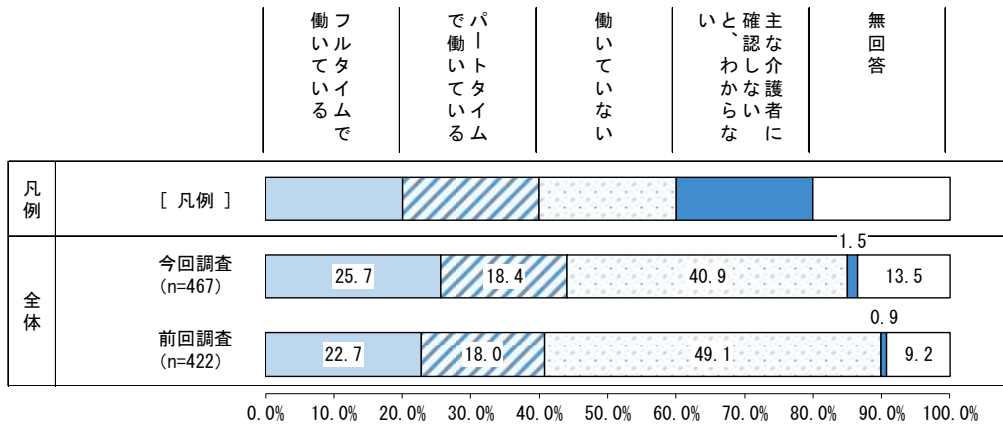


#### 4. B票:主な介護者の方にお聞きします

● B問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 勤務形態について、「働いていない」が40.9%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が25.7%、「パートタイムで働いている」が18.4%となっています。  
 ○ 「働いていない」は前回調査の49.1%に比べて少なくなっています。

**【勤務形態】**

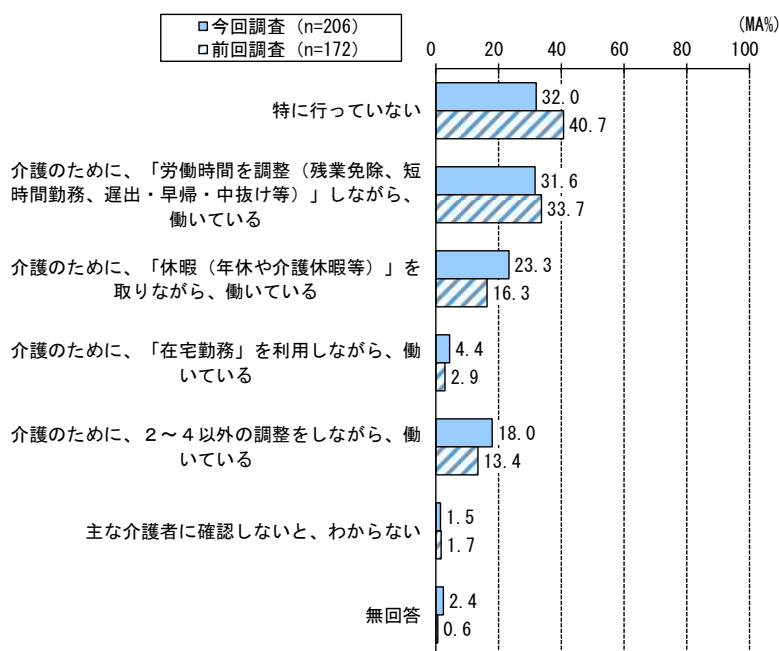


- B問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(いくつでも○)

**【全体】**

- 働き方の調整について、「特に行っていない」が 32.0%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 31.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 23.3%となっています。
- 「特に行っていない」は前回調査の 40.7%に比べて少なく、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」は前回調査の 16.3%に比べて多くなっています。

**【働き方の調整(MA)】**

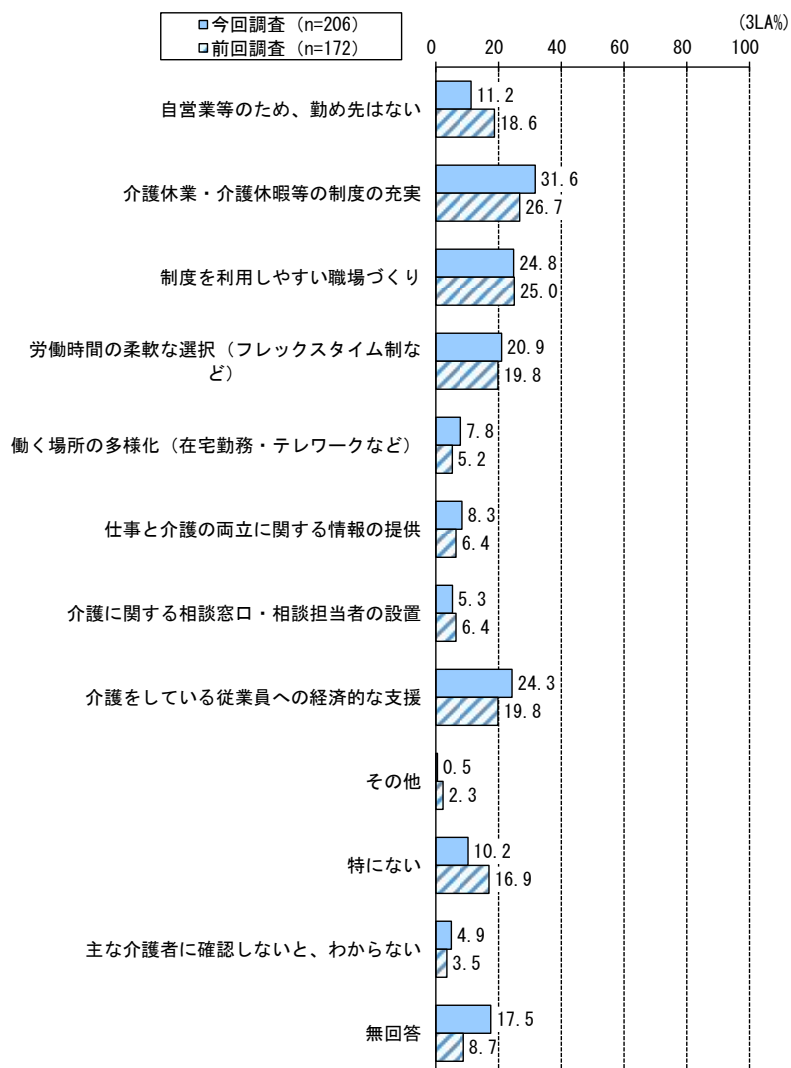


- B問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで○）

**【全体】**

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.6%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が24.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.3%となっています。
- 「自営業等のため、勤め先はない」は今回調査が11.2%と前回調査の18.6%に比べて、「特にない」は今回調査が10.2%と前回調査の16.9%に比べて少なくなっています。

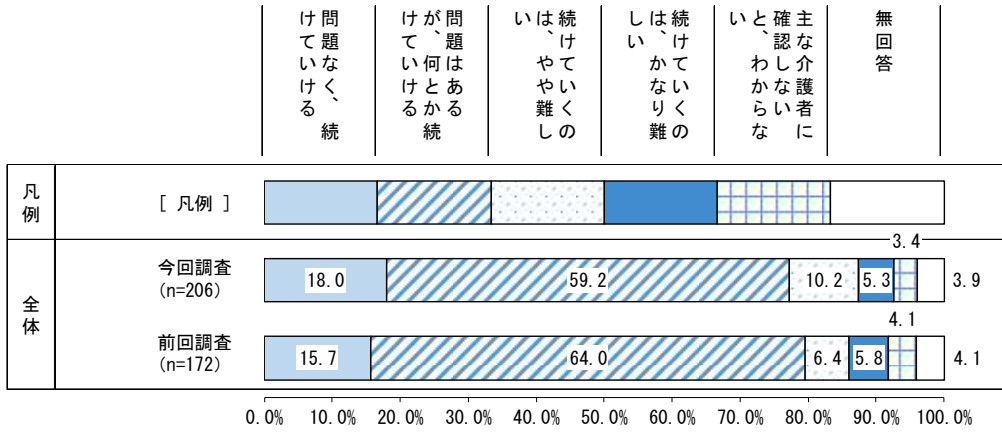
**【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】**



- B問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 就労継続見込みについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が59.2%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が18.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.2%となっています。

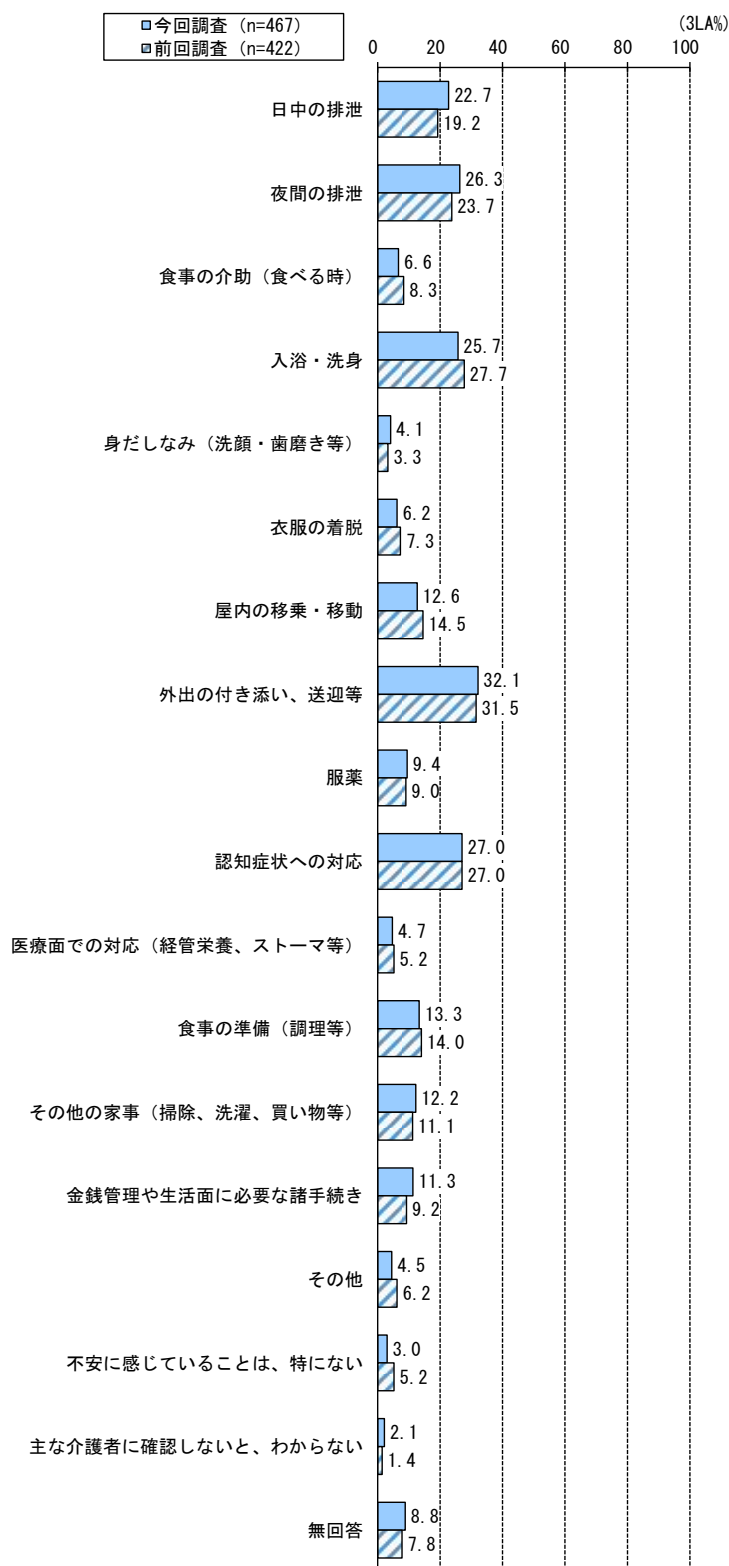
**【就労継続見込み】**



- B問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで○)

**【全体】**  
 ○ 不安を感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が32.1%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が27.0%、「夜間の排泄」が26.3%となっています。

**【不安を感じる介護(3LA)】**



## 5. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果

### ◆検討テーマと集計・分析の狙い

#### ●要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討する。
介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「介護者の就労状況」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討する。

#### ●支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	○ 主に「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討する。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討する。
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「訪問診療の利用の有無」について、訪問診療の利用の有無別のサービス利用のパターンを集計・分析し、医療ニーズのある在宅療養者を支えるための支援・サービスの提供体制について検討する。
6 サービス未利用の理由など	○ 上記以外の、地域での検討に有用と考えられる事項について検討する。

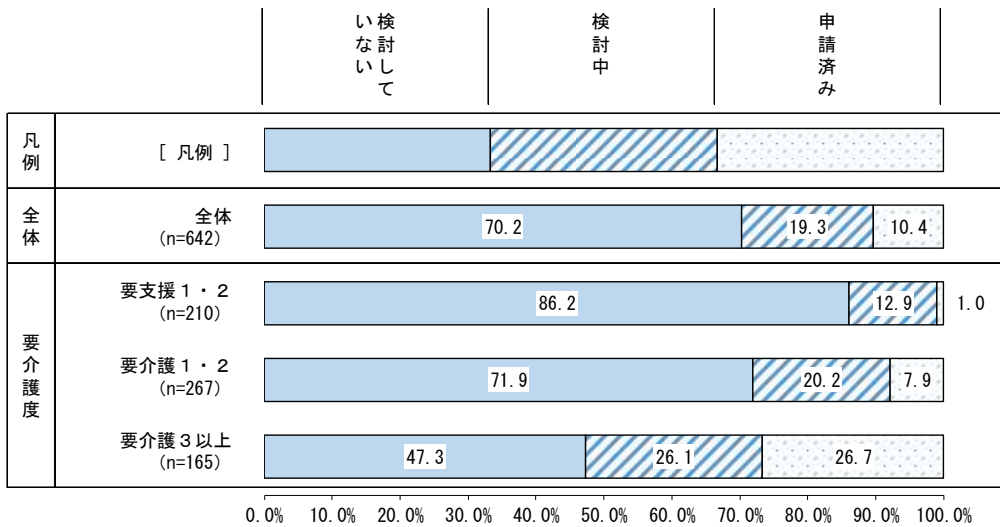
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 施設等への入所・入居の検討状況

●要介護度

- 要介護度が高くなるにつれて、「検討中」または「申請済み」の割合が高くなっています。
- 要介護1・2では3割程度、要介護3以上では半数程度が「検討中」または「申請済み」となっています。

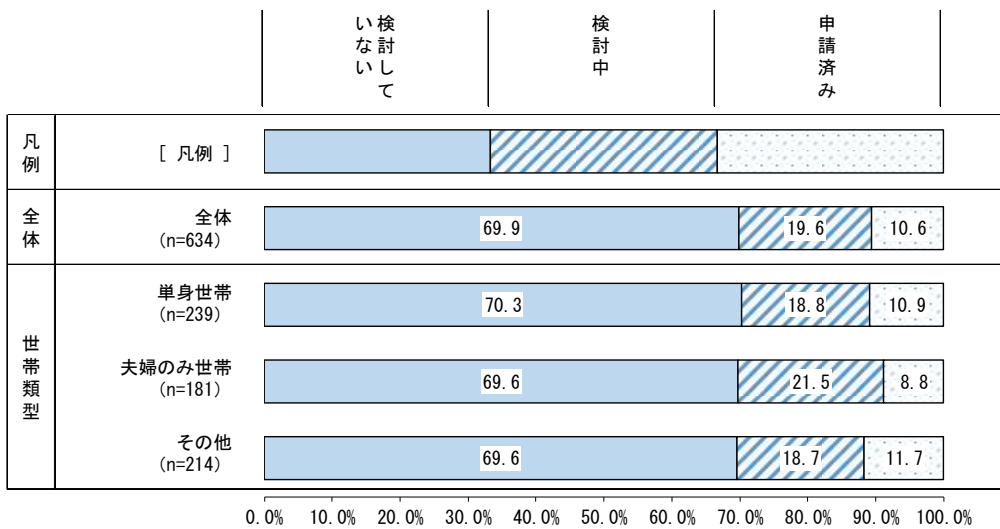
【要介護度別・施設等検討の状況】



●世帯類型

- いずれの世帯でも約3割の人が施設等への入所・入居について「検討中」または「申請済み」となっています。

【世帯類型別・施設等検討の状況】

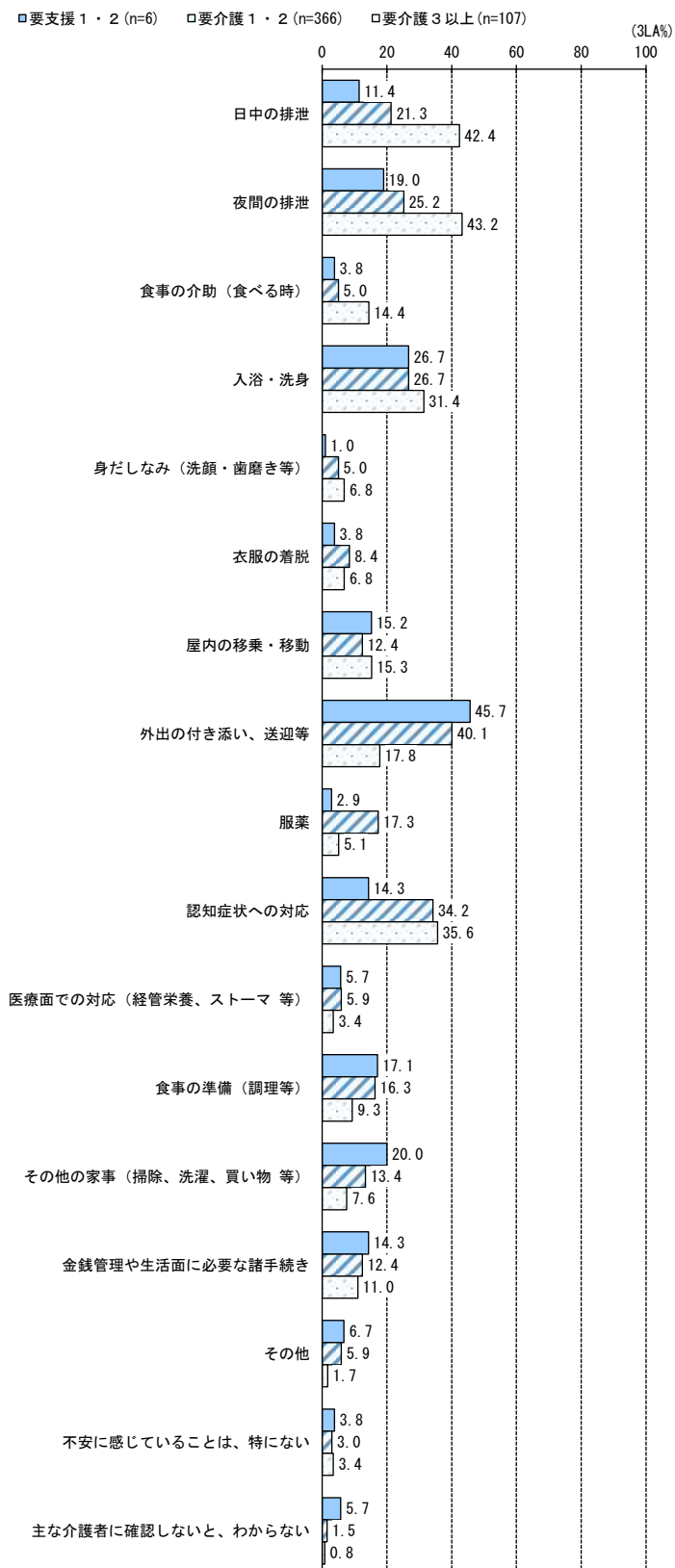


## ② 介護者が不安に感じる介護

### ● 要介護度

○ 要介護3以上では、「夜間の排泄」が43.2%で最も多く、次いで「日中の排泄」が42.4%、「認知症状への対応」が35.6%となっています。

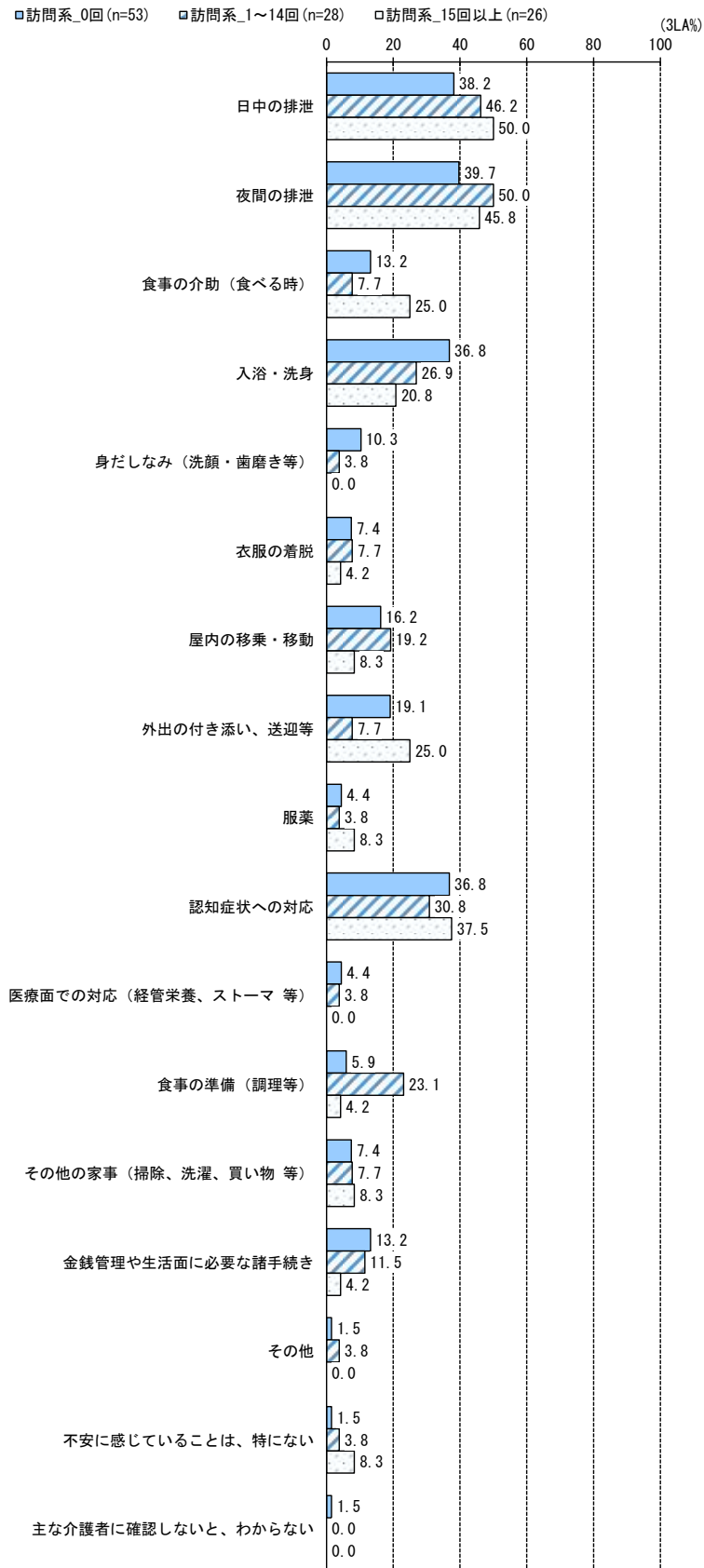
【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】



● 訪問系サービスの利用回数

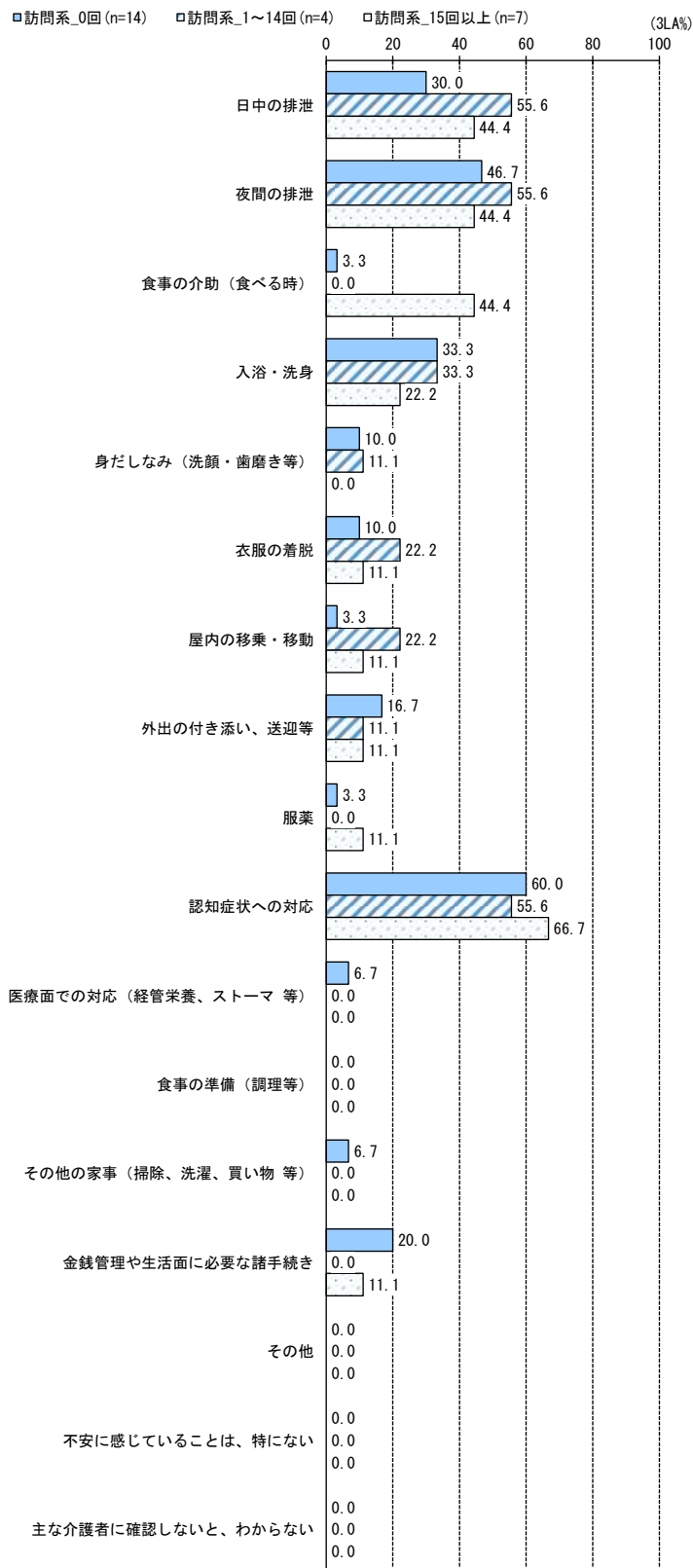
○ 要介護3以上では、訪問系サービス利用回数が多いほど、「入浴・洗身」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」に対して不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】



- 認知症自立度Ⅲ以上では、訪問系サービスを月15回以上利用することで「入浴・洗身」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」に不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。
- また、訪問系サービスを月1回以上利用することで「外出の付き添い」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」に不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

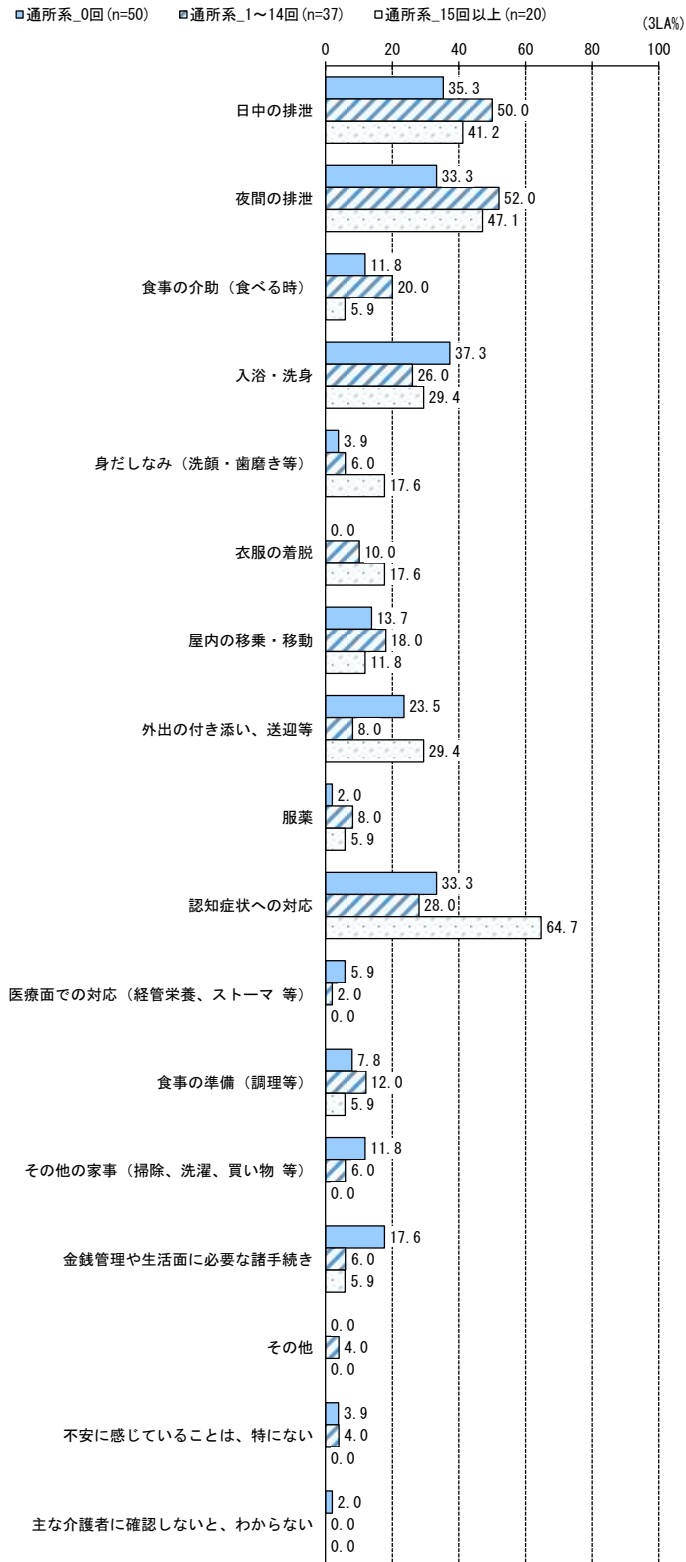
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】



●通所系サービスの利用回数

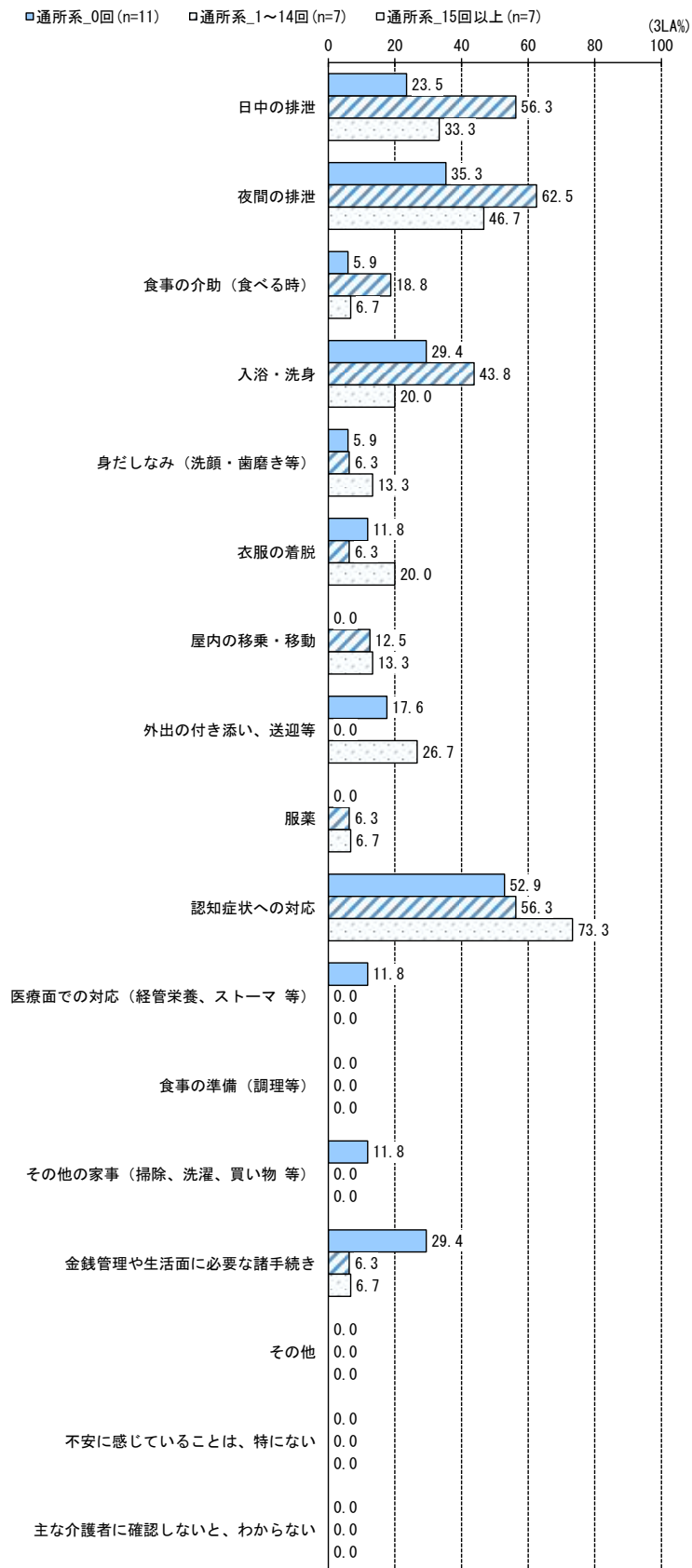
- 要介護3以上では、通所系サービス利用回数が多いほど、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」に対して不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。
- また、通所系サービスを月1回以上利用することで「入浴・洗身」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」に対して不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】



○ 認知症自立度Ⅲ以上では、通所系サービスを月1回以上利用することで、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」に対して不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

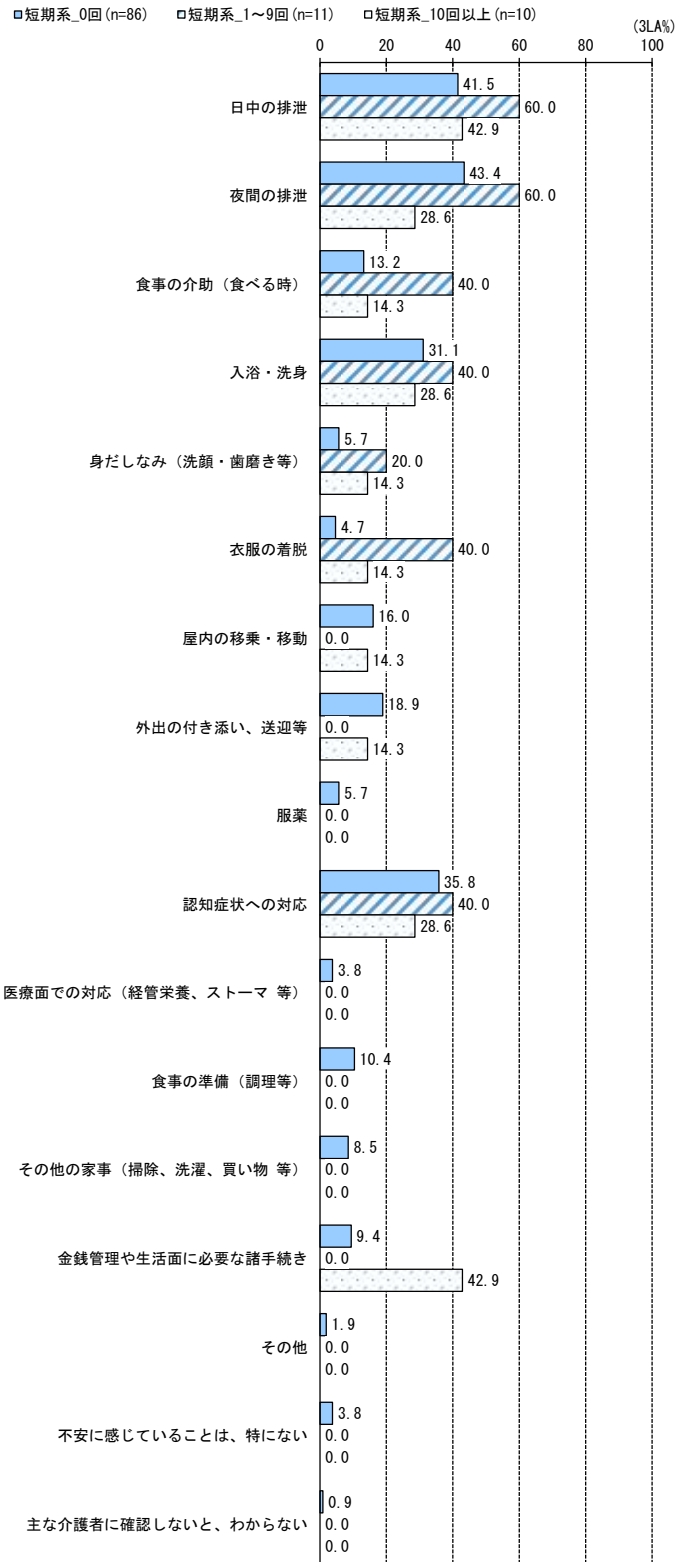
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】



●短期系サービスの利用回数

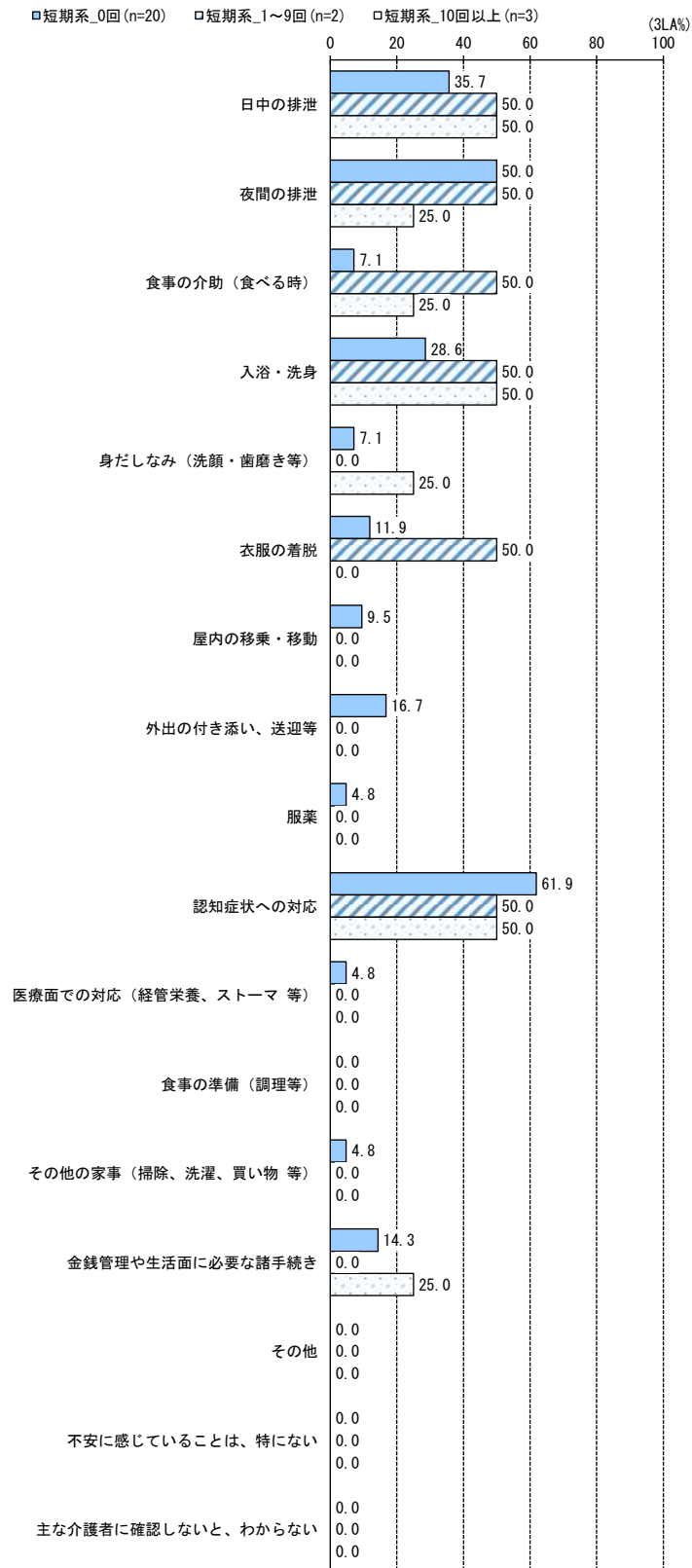
- 要介護3以上では、短期系サービスを月15回以上利用することで「夜間の排泄」「認知症状への対応」などの介護に不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。
- また、短期系サービスを月1回以上利用することで「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」に不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】



- 認知症自立度Ⅲ以上では、短期系サービスを月10回以上利用することで「夜間の排泄」「衣服の着脱」に不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。
- また、短期系サービスを月1回以上利用することで「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」に対して不安を感じる割合が低くなる傾向がみられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】



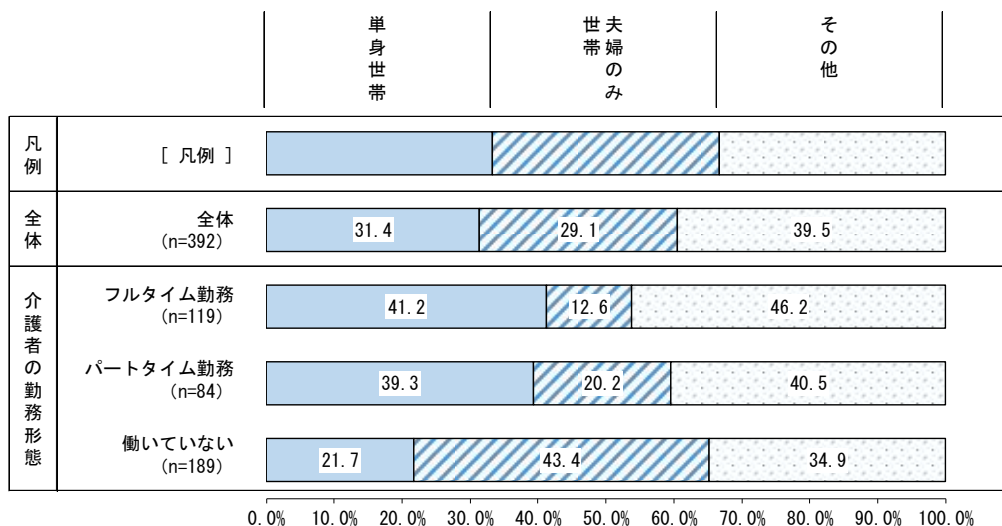
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 就労状況

●世帯類型

○ 主な介護者が働いている人では、単身世帯が約4割となっています。

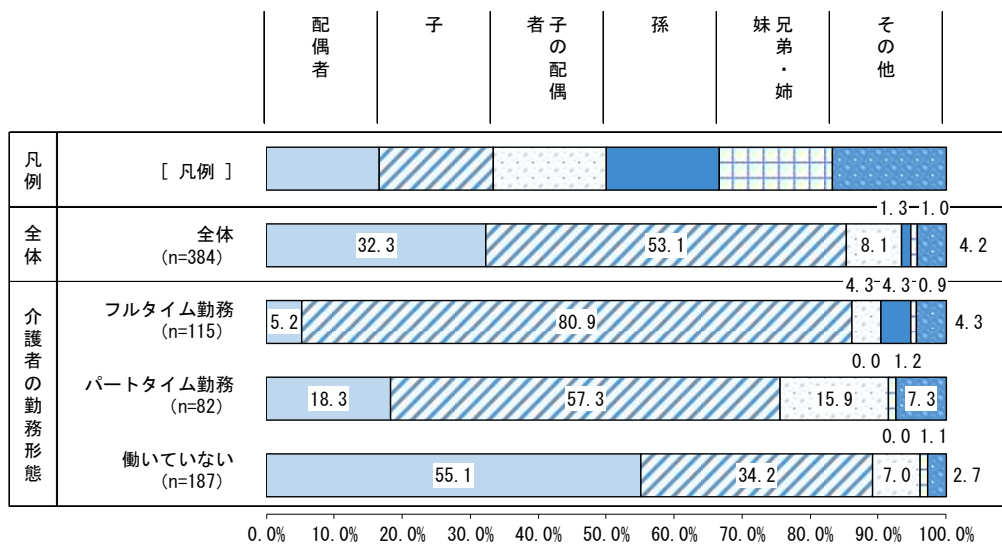
【就労状況別・世帯類型】



●主な介護者

○ フルタイム勤務では「子」が80.9%となっています。  
 ○ パートタイム勤務では「配偶者」が18.3%、次いで「子」が57.3%となっています。

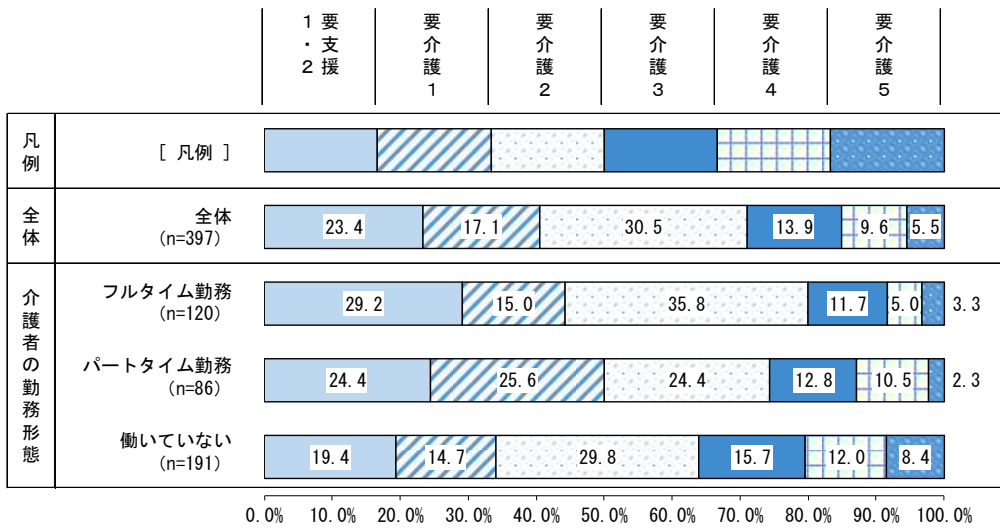
【就労状況別・主な介護者の本人との関係】



●要介護度

○ 勤務時間が短いほど要介護3以上が多くなる傾向がみられます。

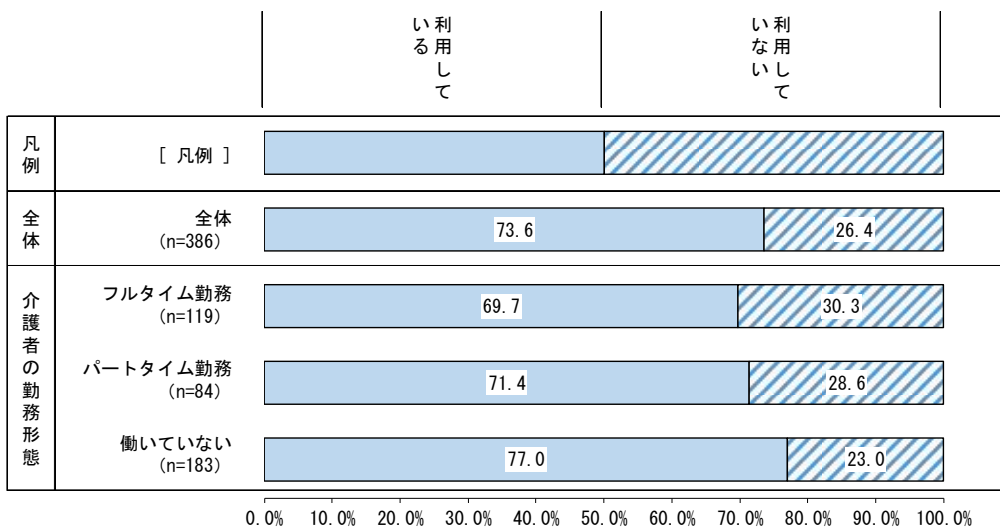
【就労状況別・要介護度】



●介護保険サービスの利用有無

○ 勤務時間が長いほど、介護保険サービスを「利用していない」が多くなる傾向がみられます。

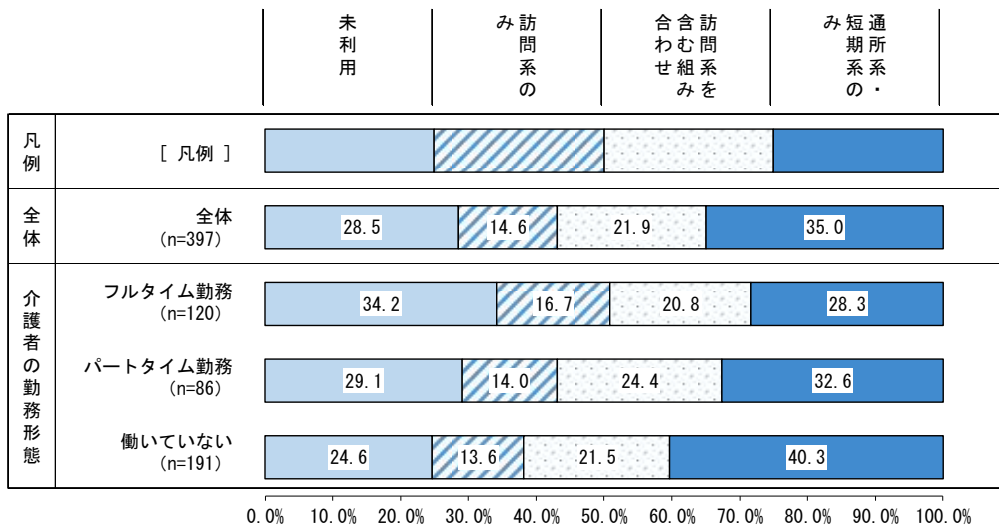
【就労状況別・介護保険サービス利用の有無】



● サービス利用の組み合わせ

- 勤務時間が長いほど「未利用」が多くなる傾向がみられます。
- 勤務時間が短いほど「通所系・短期系のみ」が多くなる傾向がみられます。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

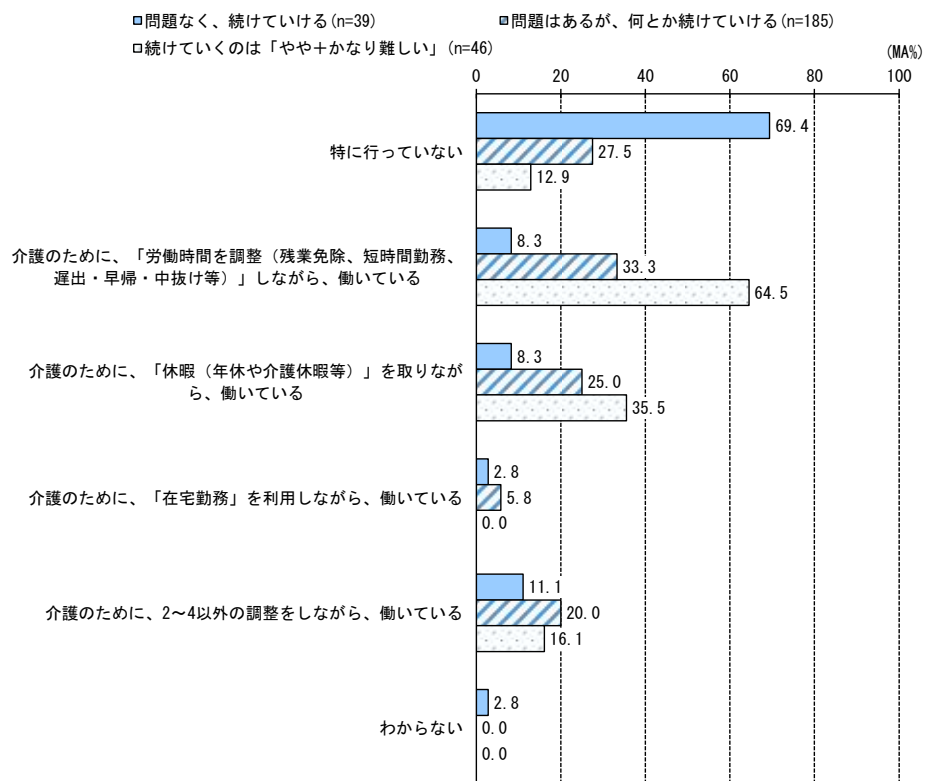


## ② 就労継続見込み

### ● 介護のための働き方の調整

○ 介護のために労働時間の調整、休暇の取得をしているにもかかわらず、続けていくのは「やや+かなり難しい」と感じている割合が多くなっています。

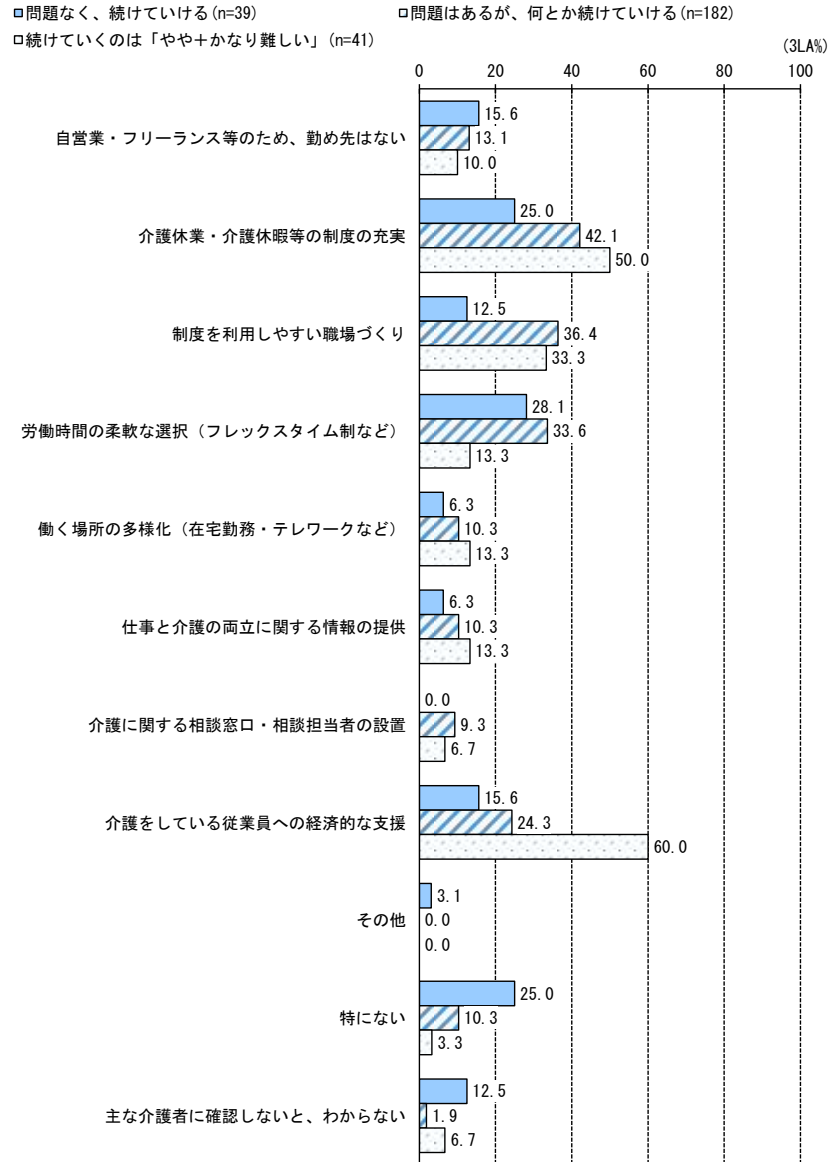
#### 【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



●効果的な勤め先からの支援

○ 介護をしながらの就労継続に何らかの問題を感じている介護者では、勤め先から「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」などの支援が効果的と考えている割合が多くなっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】



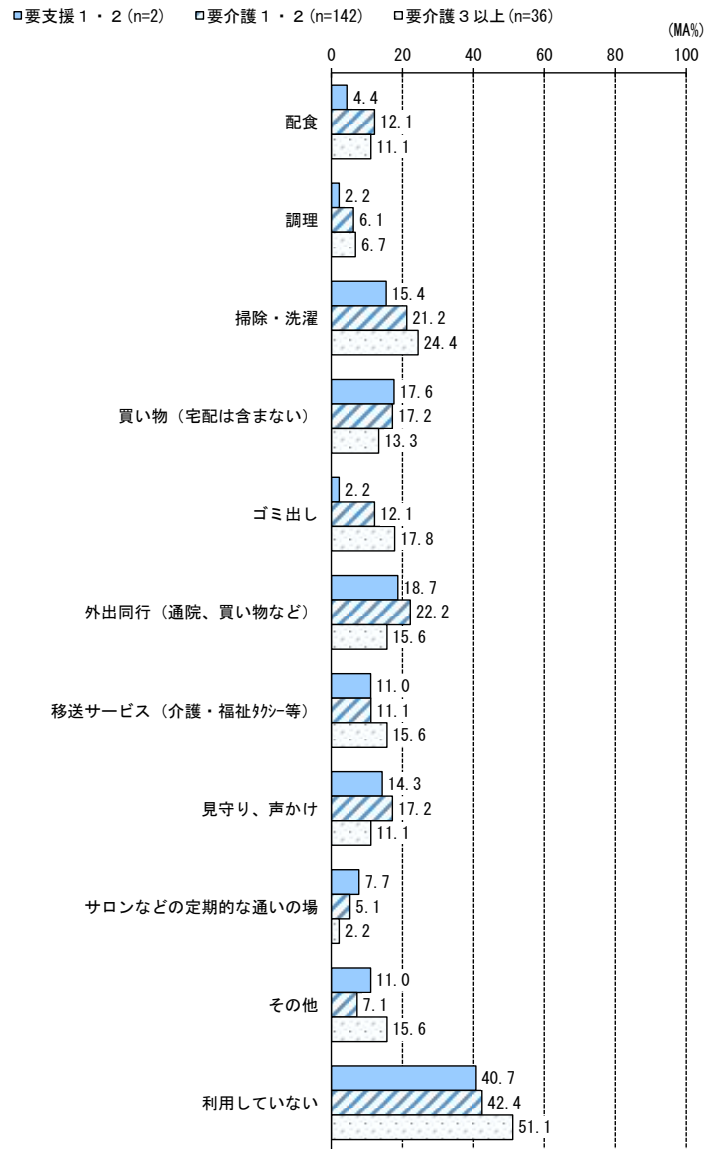
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

● 要介護度・世帯類型

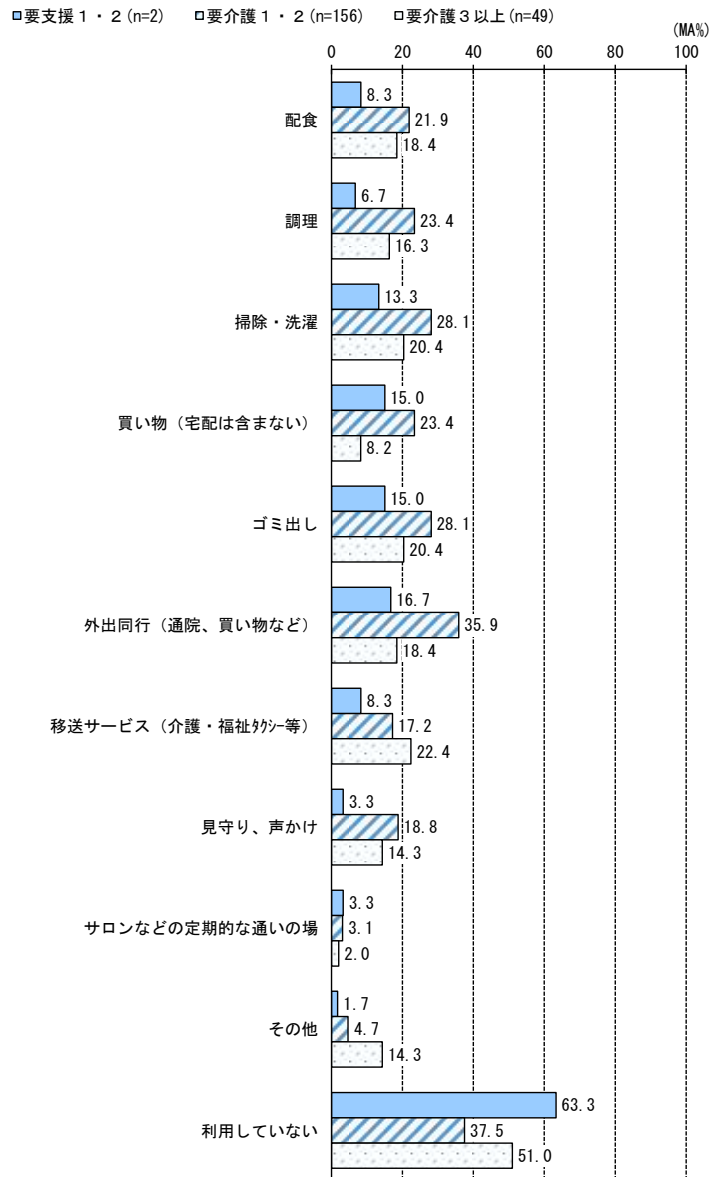
- 単身世帯では、要介護3以上で「利用していない」が51.1%となっています。
- 「配食」「調理」は要介護1以上で多く、また要介護度が高いほど「掃除・洗濯」「ゴミ出し」が多くなる傾向がみられます。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】



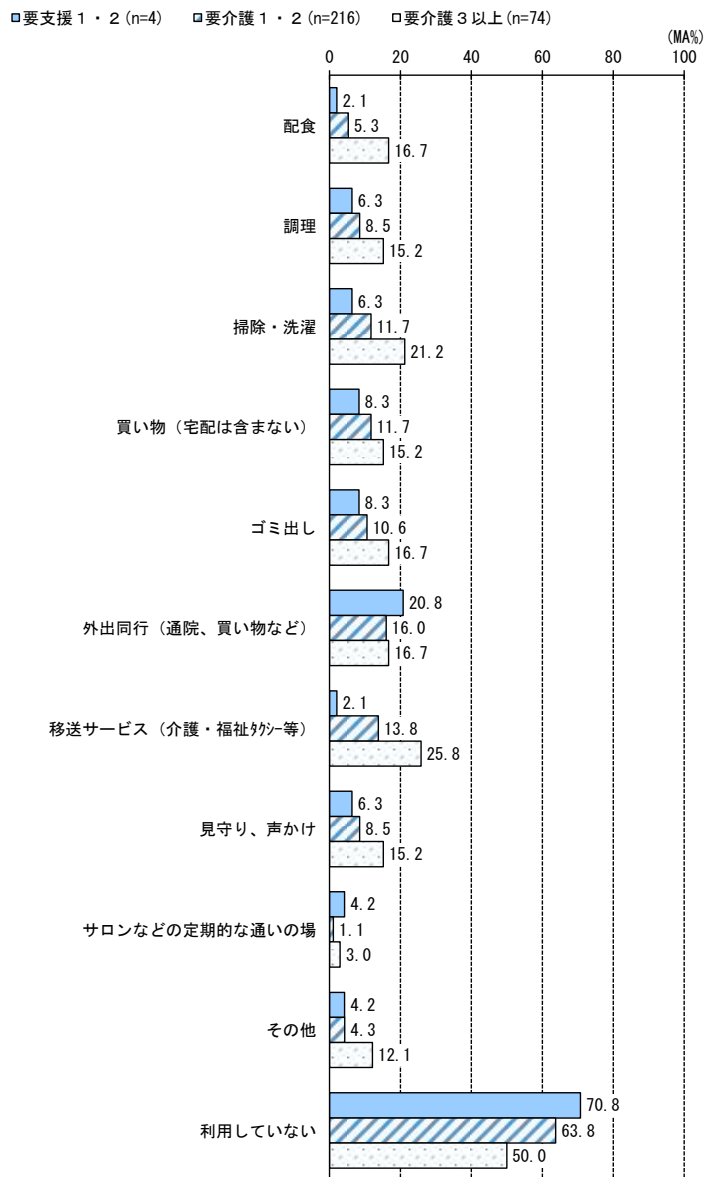
- 夫婦のみ世帯では、要介護3以上で「利用していない」が51.0%となっています。
- 「配食」「調理」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」は要介護1以上で、また要介護度が高いほど「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」などが多くなる傾向がみられます。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】



- その他世帯では、要介護2以下の「利用していない」が他の世帯に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「配食」「調理」「掃除、洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が多くなる傾向がみられます。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

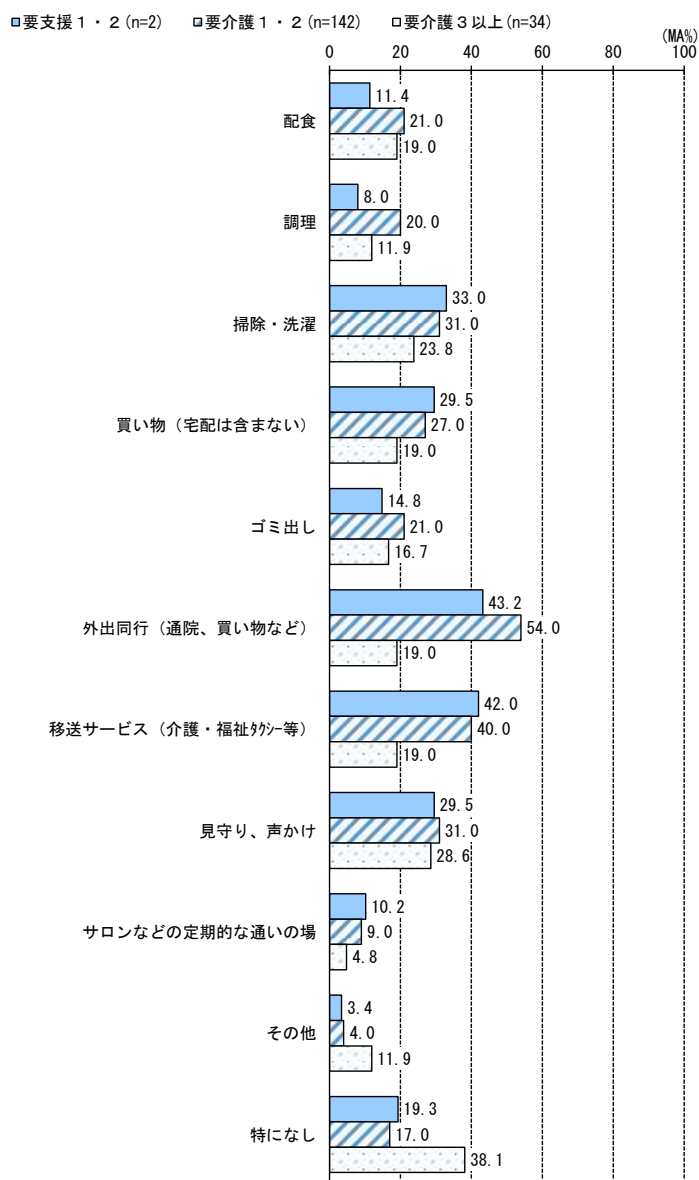


## ② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

### ● 要介護度・世帯類型

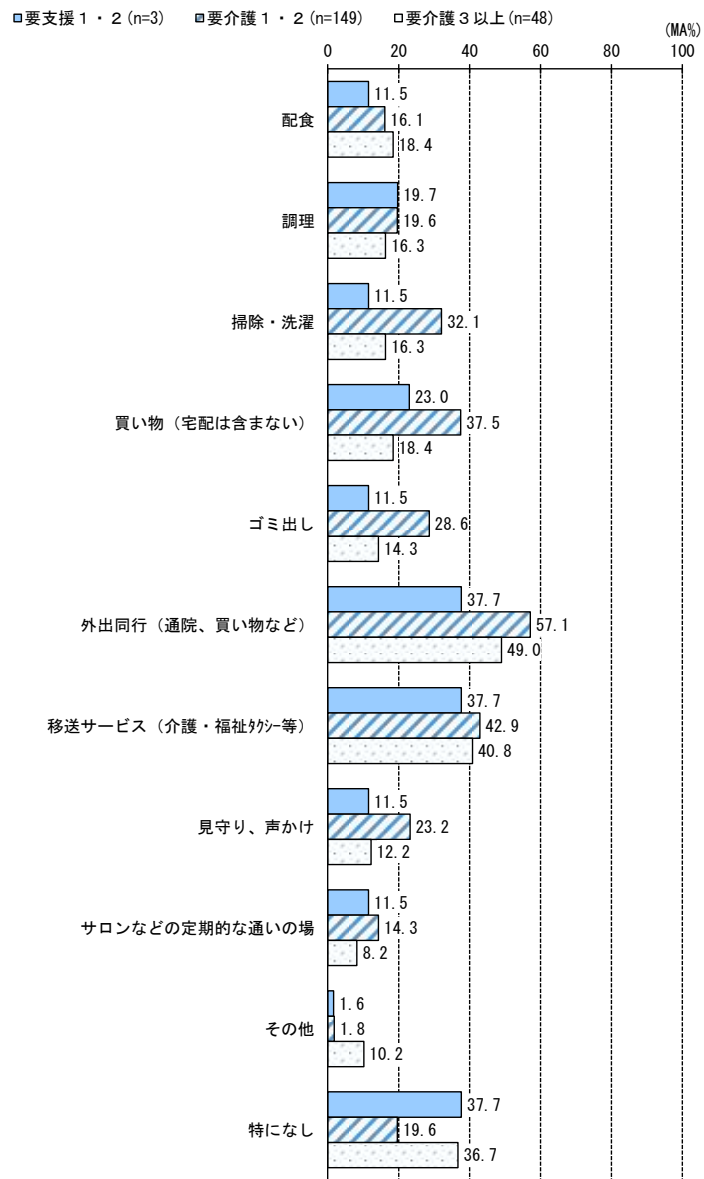
- 単身世帯では、要介護2以下で「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」などの支援を必要と感じている割合が実際の利用状況に比べて多くなっています。
- 一方、要介護3以上では「見守り、声かけ」などの支援を必要と感じている割合が実際の利用状況に比べて多くなっているものの、「特になし」が要介護2以下に比べて多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（単身世帯）】



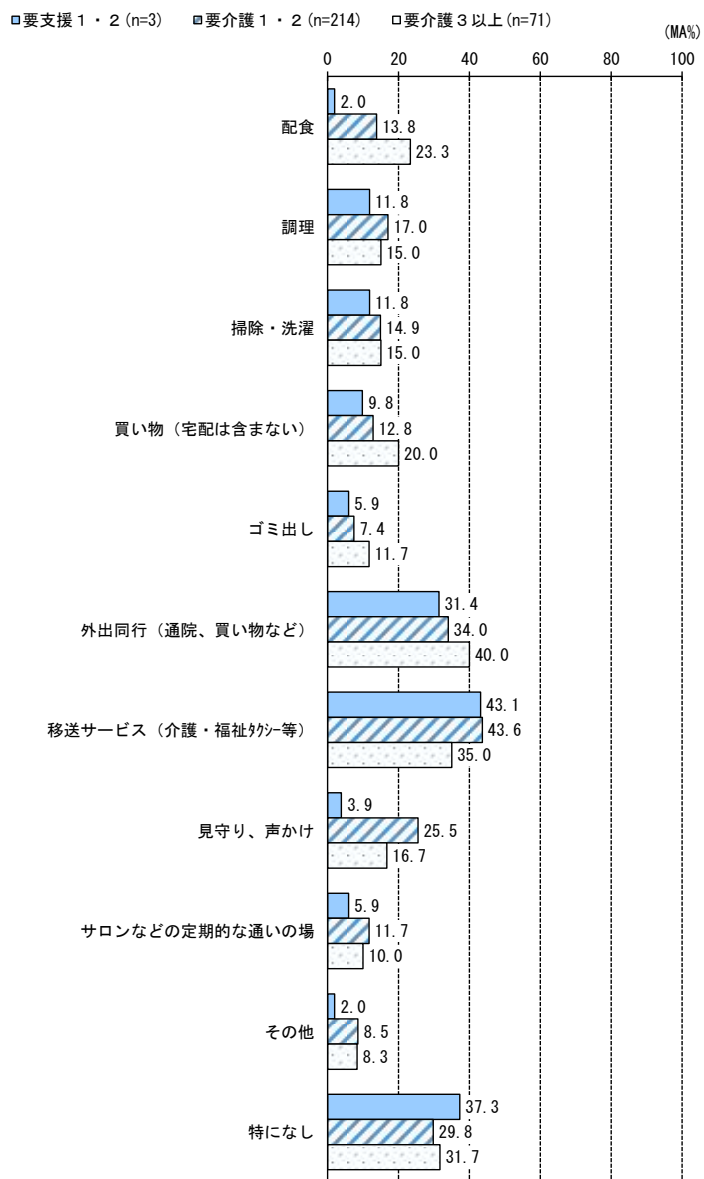
○ 夫婦のみ世帯では、いずれの要介護度でも「買い物（宅配は含まない）」「外出同行（介護・福祉タクシー等）」「サロンなどの定期的な通いの場」を必要と感じている割合が実際の利用状況に比べて多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（夫婦のみ世帯）】



○ その他世帯では、いずれの要介護度でも「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」を必要と感じている割合が実際の利用状況に比べて多くなっています。

### 【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（その他世帯）】



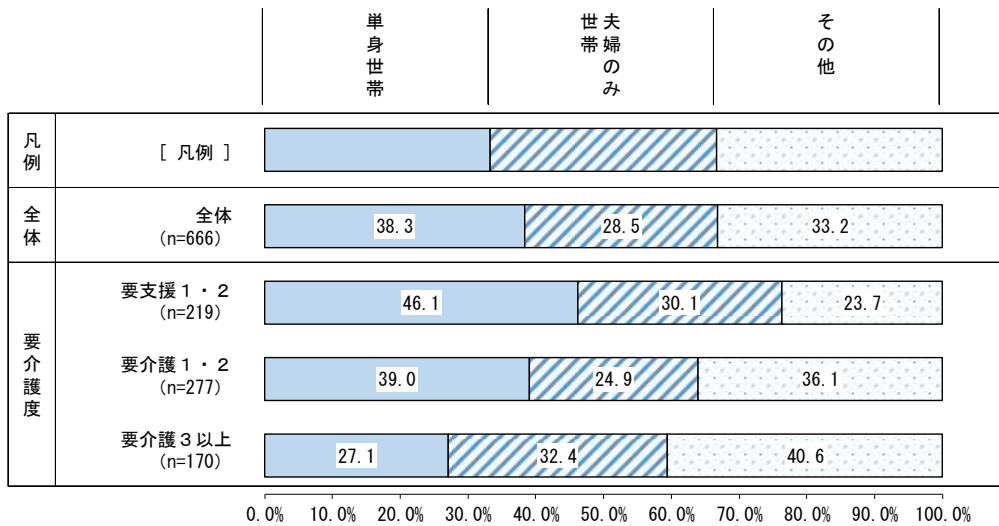
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型

● 要介護度

- 要介護度が上がるほど「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。
- 要介護3以上では、単身世帯が27.1%、夫婦のみ世帯が32.4%となっています。

【要介護度別・世帯類型】

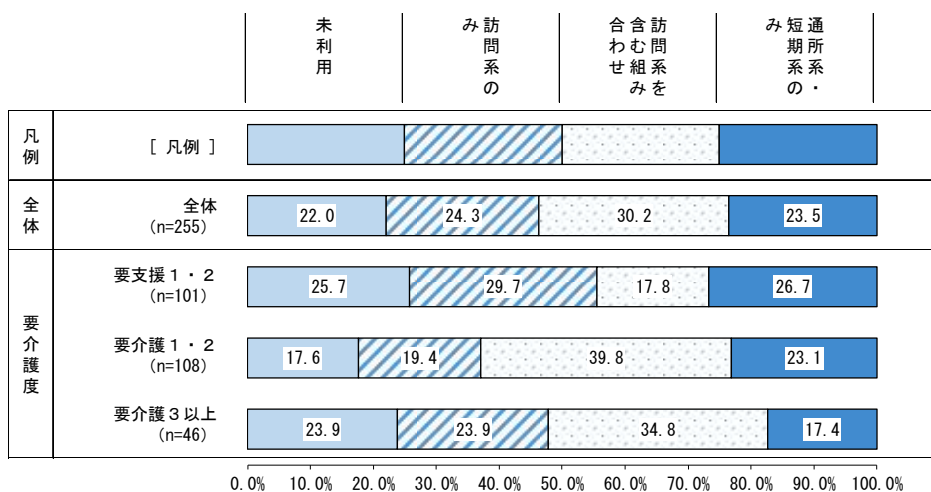


## ② サービス利用の組み合わせ

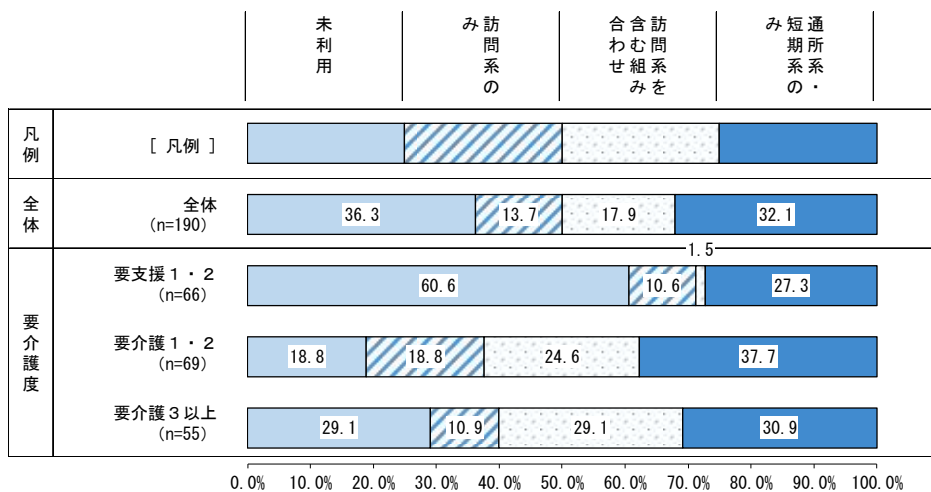
### ● 要介護度・世帯類型

○ 単身世帯では、訪問系サービスの利用が他の世帯類型と比べて多くなっています。

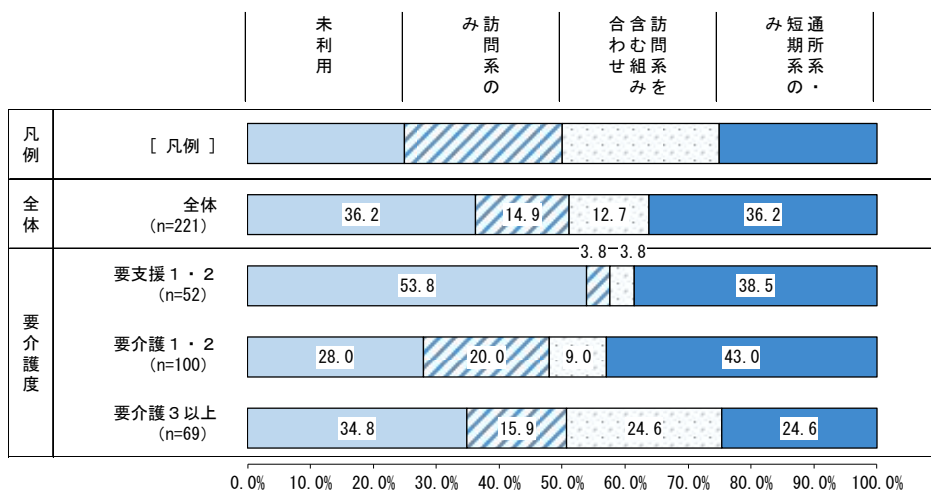
#### 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



#### 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



#### 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

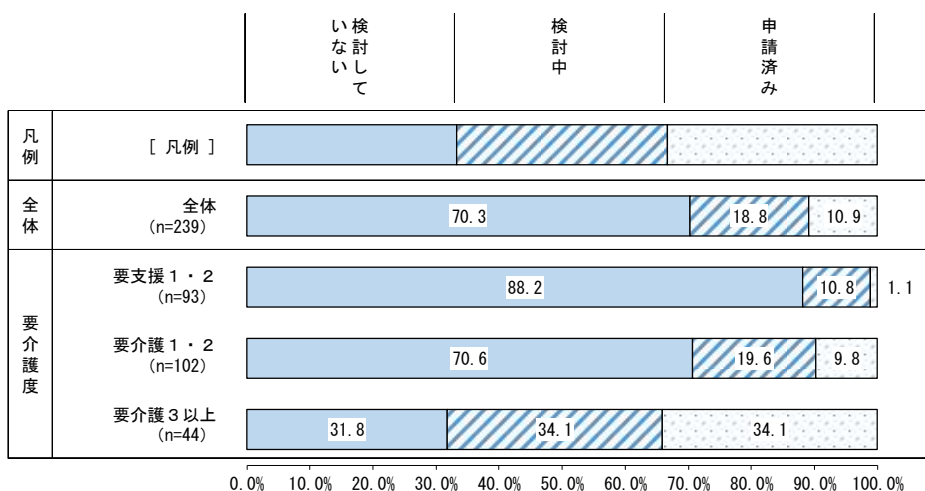


### ③ 施設等への入所・入居の検討状況

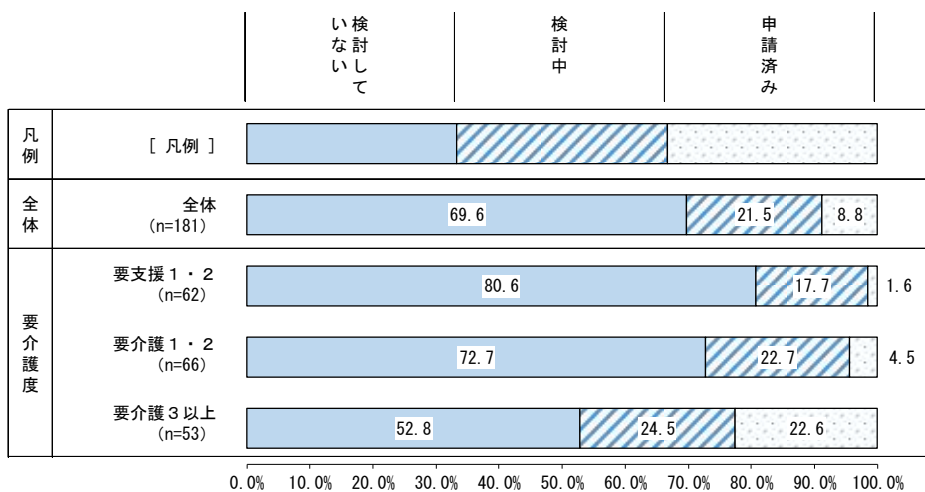
#### ● 要介護度・世帯類型

○ 単身世帯では、要介護3以上で「検討中」「申請済み」が7割程度と他の世帯類型に比べて多くなっています。

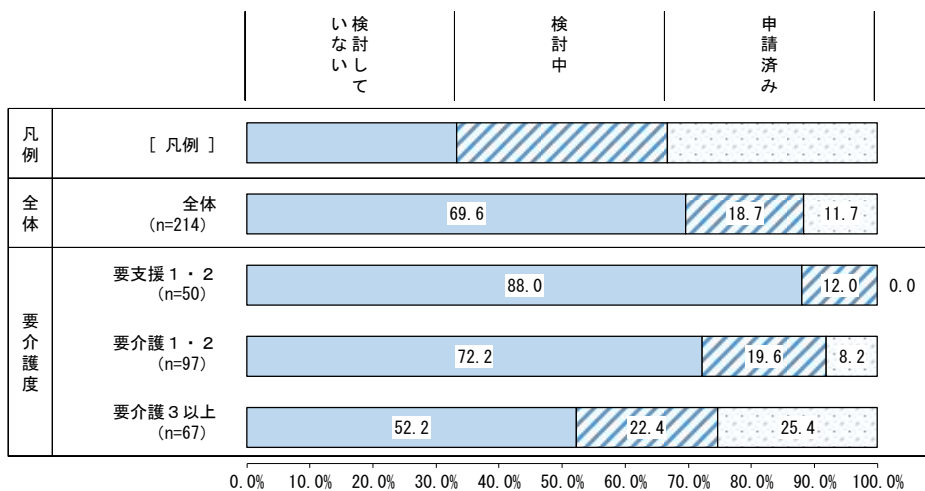
【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】



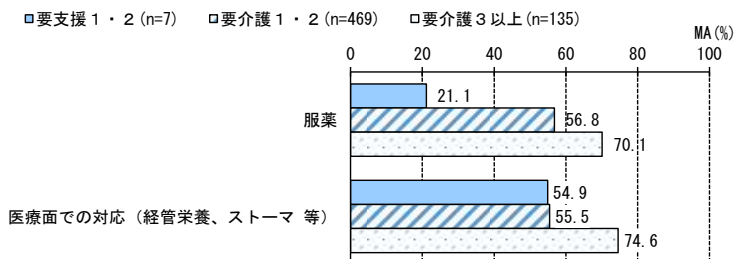
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

●要介護度

○ 「服薬」は要介護度が高いほど多くなる傾向がみられ、「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」は要介護3以上で他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）】

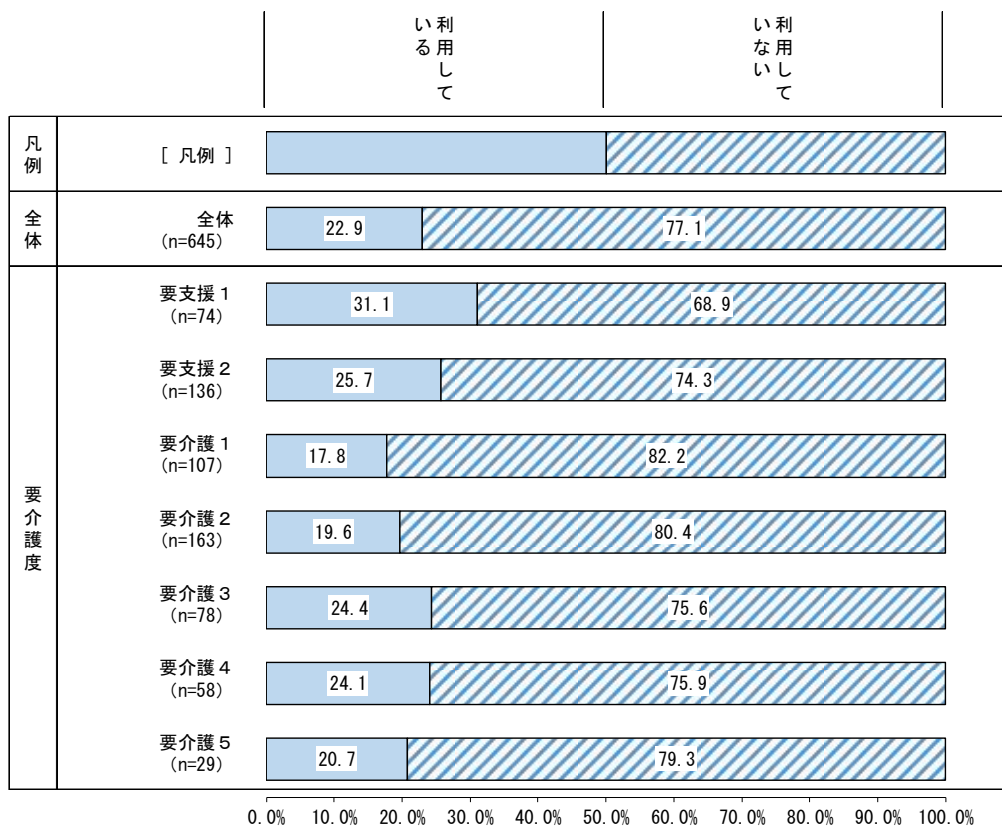


② 訪問診療の有無

●要介護度

○ 訪問診療の利用有無に要介護度による顕著な傾向はみられません。

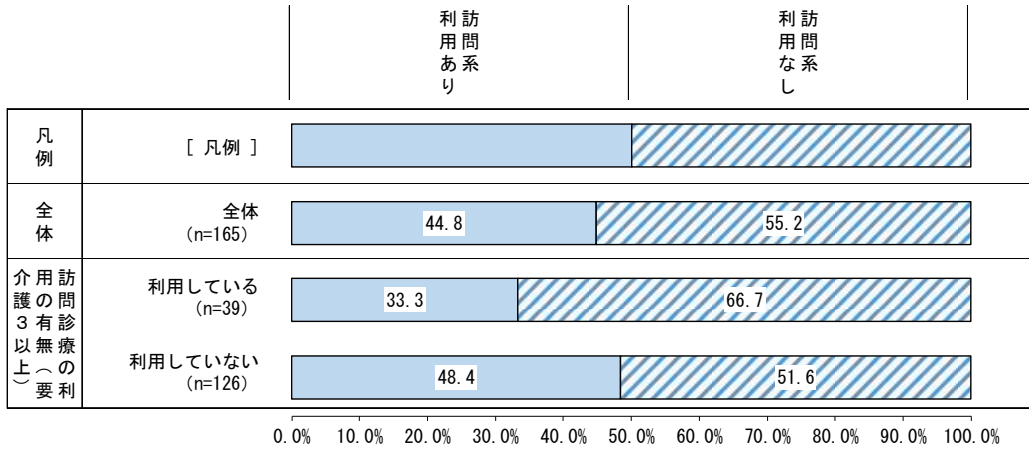
【要介護度別・訪問診療の利用割合】



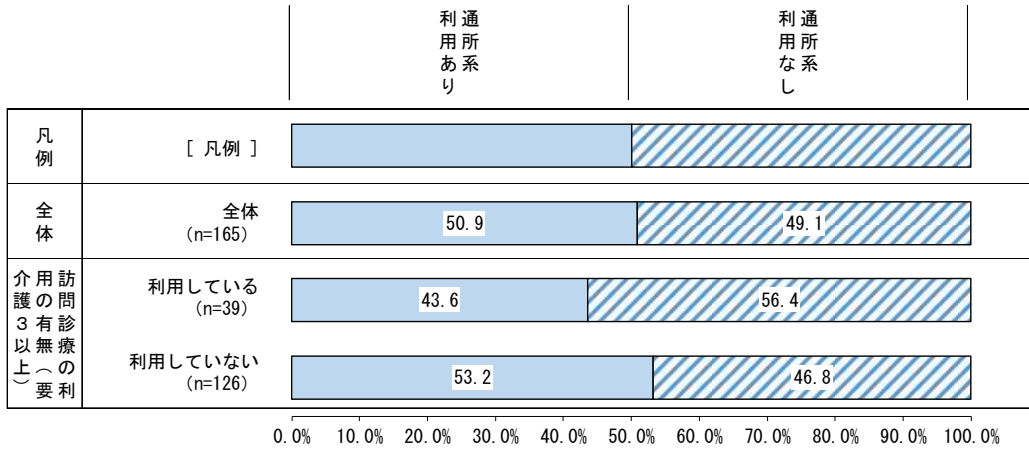
●介護保険サービスの利用有無

○ 訪問診療を利用している人では、通所系サービスの利用が多くなっています。

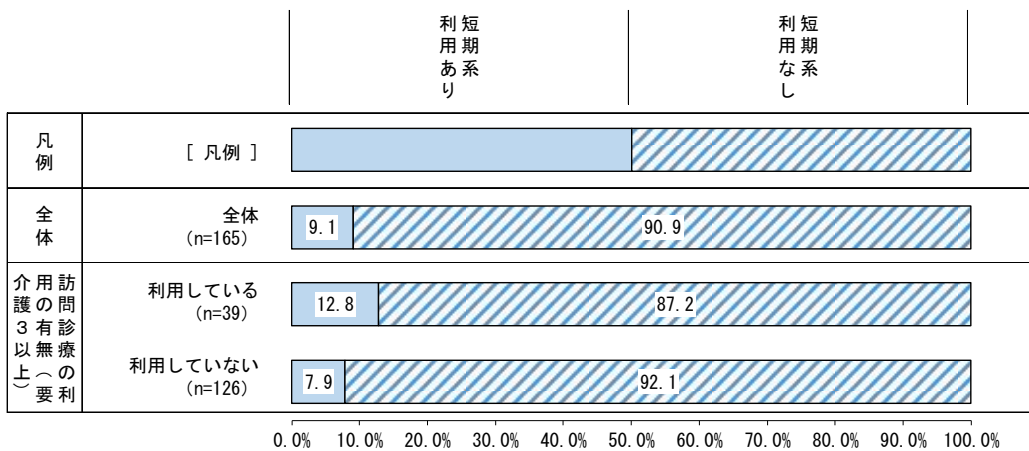
【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】



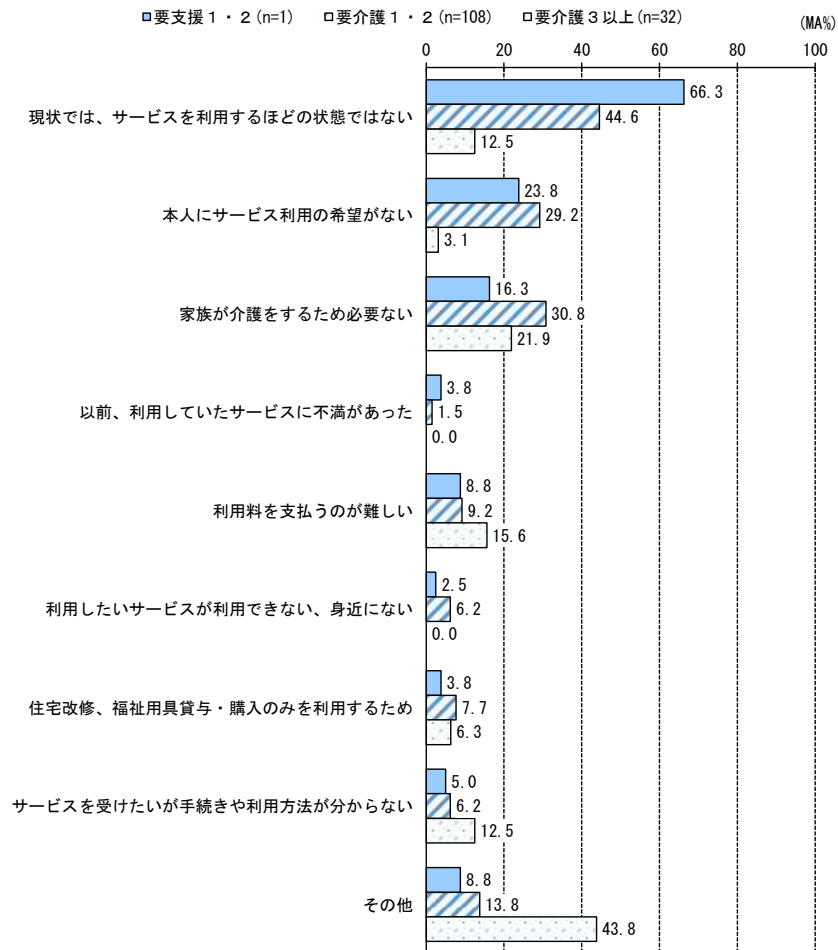
(6) その他

① サービス未利用理由

●要介護度

- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は、要介護1・2で44.6%、要介護3以上で12.5%となっています。
- 「本人にサービス利用の希望がない」は、要介護1・2で29.2%となっています。
- 「家族が介護をするため必要ない」は、要介護1・2で30.8%、要介護3以上で21.9%となっています。

【要介護度別のサービス未利用の理由】



## ② 主な介護者の年齢

### ● 本人の年齢

○ 70歳代では、主な介護者が「70歳代」以上である割合が他の区分に比べて多くなっています。

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

